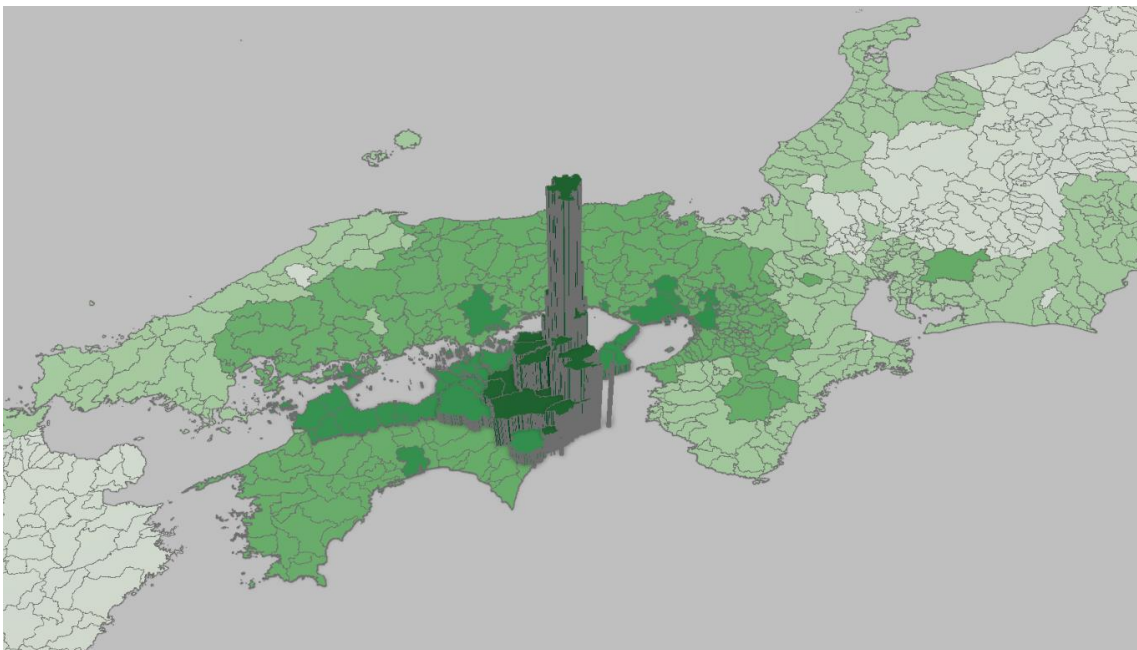
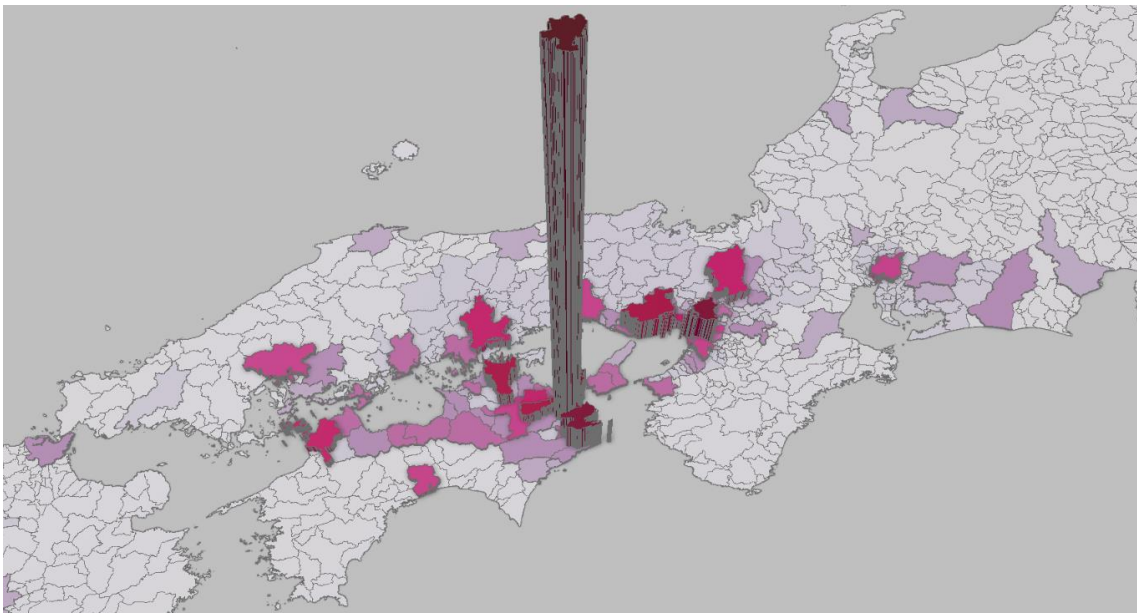


2023 年徳島市阿波おどり 国内来場者データ分析



2024 年 3 月

目次

1. 2023 年徳島市阿波おどりの開催状況	1
2. 「モバイル空間統計」による 2023 年徳島市阿波おどりの来場者数(国内居住者)	2
2-1. 「モバイル空間統計」による来場者数の把握方法.....	2
(1) 「モバイル空間統計」の特徴	2
(2) 来場者数を把握する範囲(エリア)と時間帯, カウント方法について	2
(3) 対象者や来場者数の把握に関する注意事項.....	3
2-2. 2023 年徳島市阿波おどりの来場者数(国内居住者)	5
(1) 開催日別来場者数.....	5
(2) 開催日別・性別来場者数	6
(3) 開催日別・年齢区分別来場者数.....	7
(4) 都道府県別来場者数	8
(5) 市町村別来場者数.....	16
(6) 期間ユニーク来場者数.....	29

表紙 3D マップ

上段: 8/12-13 の来場者数

下段: 8/12-13 の 1 万人当たり来場者数

1. 2023 年徳島市阿波おどりの開催状況

2023 年の徳島市阿波おどりは、新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行によって行動制限が撤廃されたお盆であったものの、2022 年に続き 2019 年以前の開催規模より縮小して、屋外に演舞場を設置して開催された¹。8 月 11 日の前夜祭、8 月 12 日と 13 日は通常通り開催されたものの、14 日は台風 7 号が接近するなかでの開催、15 日は台風の直撃によって全公演が中止を余儀なくされた。

阿波おどり未来へつなぐ実行委員会の報告²によれば、8 月 12 日から 14 日までの会場エリア周辺の人出の状況(推計値)は、8 月 12 日が 25 万人、13 日が 23 万人、14 日が 6 万人の計 54 万人とされている(図表 2-1)。2022 年の推計値は 46 万人であり、荒天と中止にもかかわらず、コロナ禍の行動制限が撤廃されたことから、前年比で 8 万人増加した。

図表 2-1. 主催者発表の徳島阿波おどり来場者数(推計値)

	8月12日	13日	14日	15日	計
2023年	250	230	60	-	540
2022年	110	130	120	100	460
前年差	140	100	-60	-100	80

注:単位は 1,000 人

出所:阿波おどり未来へつなぐ実行委員会「2023 阿波おどりの開催結果について」、「2022 阿波おどりの開催結果について」より作成。

実行委員会発表の来場者数のカウント方法は、演舞場等の主要な地点での人数を加算するものであり、来場者が複数の演舞場等を移動すれば、同じ個人でも二度、三度カウントされる。この方法は、実際に多くの来場者が演舞場間や様々な地点間を移動するため、阿波おどり会場内の実際の混雑状況を反映しているといえる。

しかし、実行委員会発表では、同じ開催日や期間の同じ個人を一人としてカウントする方法である、「日別ユニーク」や「期間ユニーク」による来場者数の把握ができない。また、性別や年齢区分別といった基本的な属性や居住地別の来場者の実態を把握することができない。

そのため、たとえば、阿波おどりの経済波及効果を推計する目的がある場合には、重複をカウントした来場者で宿泊費や飲食費、買物代を算出すると、同じ個人が一日に何度も宿泊したり、お土産を何度も購入するので、過大推計になってしまう。また、来場者の属性が分からないので、属性を反映させた阿波おどりを核とした観光プロモーションも実施できない。

そこで、本報告書では、「モバイル空間統計」を用いて、2023 年徳島市阿波おどりの「日別ユニーク」と「期間ユニーク」による国内居住者の来場者数と属性別来場者数を明らかにする。

¹ 2023 年は、コロナ禍前と比べて、有料演舞場が四つから二つに規模を縮小して開催された。

² 阿波おどり未来へつなぐ実行委員会「2023 阿波おどりの開催結果について」、「2022 阿波おどりの開催結果について」

2. 「モバイル空間統計」による 2023 年徳島市阿波おどりの来場者数(国内居住者)

2-1. 「モバイル空間統計」による来場者数の把握方法

(1) 「モバイル空間統計」の特徴

2023 年の徳島市阿波おどりへの来場者数は、ドコモインサイトマーケティング社が提供する「モバイル空間統計」サービスによって把握した。

「モバイル空間統計」は、NTTドコモの契約者の携帯電話端末が発する電波が定期的に携帯電話基地局にアクセスすることを利用して、契約者がどのエリアに滞在しているかを把握している。同様のサービスには、スマートフォンのアプリケーションの利用状況からユーザーの位置情報を把握する GPS を活用したものが存在するが、今日ではアプリケーションが位置情報を収集することを拒否する設定をしているユーザーも珍しくなく、特にスマートフォンの利用に長けた若年層ほどその傾向が強い。そのため、GPS を活用した位置情報には年齢層に偏りが生じることが懸念される。それに対して、「モバイル空間統計」等の携帯電話の基地局データから位置情報を収集するサービスはそのような偏りを小さくできる。

また、「モバイル空間統計」は、NTTドコモの契約者の人数に限定されるわけではなく、すべての国内携帯電話契約者に占める同社の契約者の割合等から、他社の契約者を含めた全体の人数を推計している。

(2) 来場者数を把握する範囲(エリア)と時間帯、カウント方法について

まず、阿波おどりの来場者を把握する範囲(以下、阿波おどリエリア)は、図表 2-1 に示すように、阿波おどりの演舞場を含む 1km² の範囲(500m×500m のエリアを 4 つ)とし、時間帯は各開催日の 18 時から 22 時台としている。

図表 2-1. 阿波おどリエリア



出所:ドコモインサイトマーケティング社より提供

つぎに、国内居住者のみを対象として、来場者数のカウント方法は同一開催日内と開催期間内で重複をカウントしない日別ユニークと期間ユニークを採用している。

日別ユニークと期間ユニークのカウント方法を具体的に示すと以下の通りである。

いま、開催期間を8月12日と8月13日として、A、B、Cの3人が阿波おどリエリアに来場したとする。日別ユニークでは、以下の4つの例の場合、例1のA、例2のB、例3のCはいずれも8月12日の来場者一人としてカウントされる。例3のCは、阿波おどリエリア内に二度滞在しているが、同一開催日内で重複をカウントしないので、一人としてカウントされる。Cはまた、例3と例4から、8月12日の来場者一人としてカウントされるだけでなく、翌日の8月13日の来場者一人としてもカウントされる。したがって、この例では、8月12日の来場者はA、B、Cの3人、8月13日はCのみの1人ということになる。日別ユニークの来場者を12-13日の二日間で合計すると、AとBは1日分であるが、Cは2日分カウントされるため合計4人となる。他方、期間ユニークではA、B、Cの3人は重複してカウントされないので、3人となる。

具体例	
1	個人Aが、8月12日の18時から22時まで阿波おどリエリア内にずっと滞在した場合
2	個人Bが、8月12日の19時から21時まで阿波おどリエリア内に滞在した後に、同エリア外に出た場合
3	個人Cが、8月12日の18時から19時まで阿波おどリエリア内に滞在した後に、同エリア外に出たが、21時に同エリア内に再び戻った場合
4	個人Cが、8月13日の18時から20時まで阿波おどリエリア内に滞在した後に、同エリア外に出た場合

(例の結果)

	日別ユニーク			期間ユニーク
	12日	13日	12-13日	12-13日
来場者数	3人(A, B, C)	1人(C)	4人	3人(A, B, C)

(3) 対象者や来場者数の把握に関する注意事項

(a) 対象年齢

「モバイル空間統計」では、15歳から89歳までの男女を対象としており、14歳以下の年少人口と90歳以上人口はカウントされない。阿波おどりは家族で楽しめるものであり、踊り手を含めて多くの子どもたちが来場しているが、年少人口が把握されていないという点で、来場者数が過小になっている点に注意が必要である。

(b) 秘匿

「モバイル空間統計」に限らず、同種のサービスにおいては、特に属性別(たとえば、性別、年

年齢区分別、居住地別などに位置情報を収集しようとした場合には、その属性を持つ個人の数が極端に少ない場合は、個人が特定されてしまう懸念があるため、契約者のプライバシー保護の観点から秘匿処理され、(後述するように)属性別人数が報告されない場合が生じる。また同様に、阿波おどりエリアに滞在した属性別個人の数が極端に少ない場合には、集計の過程で人数が欠落する可能性がある。

図表 2-2[1]には、上段に来場者総数と各属性別来場者数、下段に総数と各属性別来場者数の合計との差を示している。これを見ると、8月13日では、性・年齢別に来場者を集計した場合、2人が秘匿等のために欠落している。都道府県別では、8月12日と8月13日でそれぞれ33人、8月14日で317人、市区町村別では8月12日で7,100人、8月13日で6,376人、8月14日で4,736人が同様の理由のために欠落している。

また、図表 2-2[2]には、都道府県別と市区町村別来場者数の最低人数が示されている。これを見ると、都道府県別では、開催日によって異なるが、22人から37人が最低人数でそれを下回った県では、実際には来場者があった場合でも、欠落している。市区町村別でも、18人から25人が最低値で、それを下回った市区町村では、実際には来場者があった場合でも欠落している。

図表 2-2. 属性別来場者数と総数との差

[1] 属性別来場者数と総数との差

			8月12日	8月13日	8月14日
人数	総数	(a)	73,848	71,310	33,606
	性・年齢別	(b)	73,848	71,308	33,606
	都道府県別	(c)	73,815	71,277	33,289
	市区町村別	(d)	66,748	64,934	28,870
との差	総数	性・年齢別 (b-a)	0	-2	0
	都道府県別	(c-a)	-33	-33	-317
	市区町村別	(d-a)	-7,100	-6,376	-4,736

[2] 地域別別来場者数の最低人数

		8月12日	8月13日	8月14日
最低人数	都道府県別	37	22	25
	市区町村別	21	18	25

注:単位:人。

出所:「モバイル空間統計」より作成。

ただし、本報告書では欠落した都道府県や市区町村の人数が合理的に推測できる場合には、最低限の補正処理を行っている。

具体的には、都道府県については、8月12日において、岩手県と秋田県の来場者が欠落していたため、来場者総数と都道府県合計との差である33人を2県の人口比(56:44)で、岩手県に18人と秋田県に15人それぞれ按分している。同様に、13日の3県、14日の16県の人数は来場者総数と都道府県合計との差を人口比で按分している(図表 2-18 参照)。

市区町村については、3区町の来場者を補正している。具体的には、徳島県内の上勝町の来場者数が3日間欠落していたため、8月12日と13日は徳島県の来場者総数と県内市町村合計と

の差である33人と10人を割り振り、さらに、14日は牟岐町と上勝町が欠落していたため、38人を人口比で按分してそれぞれ28人と10人を割り当てている。同様に、東京都千代田区も13日の人数が欠落していたため、23区全体の来場者数と22区との差である7人を割り振っている。

なお、按分に用いた人口は、対象範囲を「モバイル空間統計」と合致させるために、総人口ではなく、15歳から89歳までの人口としている。

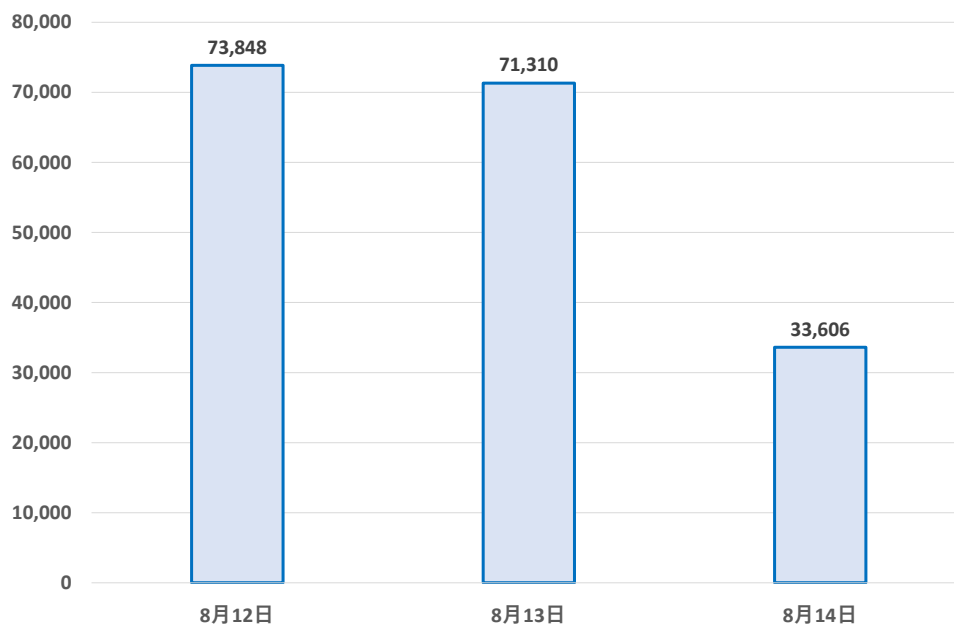
2-2. 2023年徳島市阿波おどりの来場者数(国内居住者)

以下では、国内居住者を対象として、2023年徳島市阿波おどりの来場者数の実態を明らかにする。なお、訪日外国人の来場者は対象外である。

(1) 開催日別来場者数

2023年の徳島市阿波おどりの(開催中止となった15日を除く)日別来場者数(18時から22時に阿波おどリエリアに来場した人数)は、図表2-3に示す通りである。

図表 2-3. 開催日別来場者数



	8月12日	8月13日	8月14日	12-13日	12-14日
来場者数	73,848	71,310	33,606	145,158	178,764

注:単位は人.

8月12日(土)の初日には73,848人、二日目の8月13日(日)には71,310人、台風による暴風雨の影響を受けた8月14日(月)は33,606人となり前日までと比べて、およそ半減している。

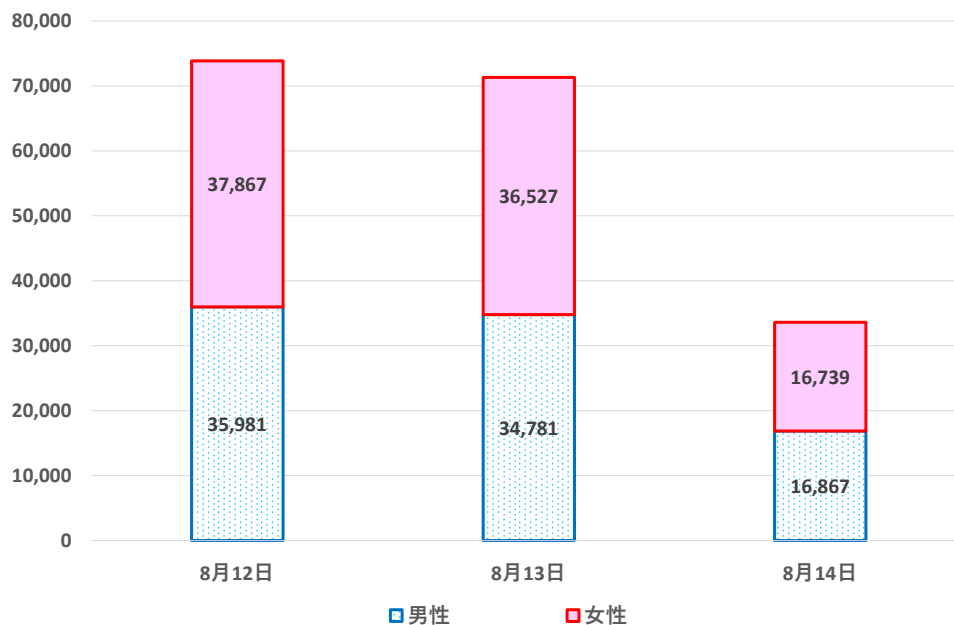
開催三日間の合計は、178,764 人であり、土日と重なった二日目までで 145,158 人と 15 万人に迫る水準であったことから、三日目以降も荒天の影響を受けず、12-13 日の 80%以上の来場者があれば、27 万人以上の来場者を見込めた可能性がある。

なお、図表 2-1 の阿波おどりエリアには、2020 年の国勢調査時点で 3,830 人が居住し、うち 15 歳から 89 歳までの人口が 3,434 人³いることが確認されているが、今回の調査では居住者も 18 時から 22 時台に同エリア内に滞在していれば、阿波おどりを観覧した来場者としてカウントしている。

(2) 開催日別・性別来場者数

開催日別・性別来場者数は、図表 2-4 に示す通りである。8 月 12 日(土)は男性が 48.7%、女性が 51.3%、8 月 13 日(日)は男性が 48.8%、女性が 51.2%、8 月 14 日(月)は男性が 50.2%、女性が 49.8%であり、三日間で見ると、わずかに女性の来場者のほうが多い。

図表 2-4. 開催日別・性別来場者数と割合



	来場者数			割合		
	8月12日	8月13日	8月14日	8月12日	8月13日	8月14日
男性	35,981	34,781	16,867	48.7	48.8	50.2
女性	37,867	36,527	16,739	51.3	51.2	49.8
計	73,848	71,308	33,606	100.0	100.0	100.0

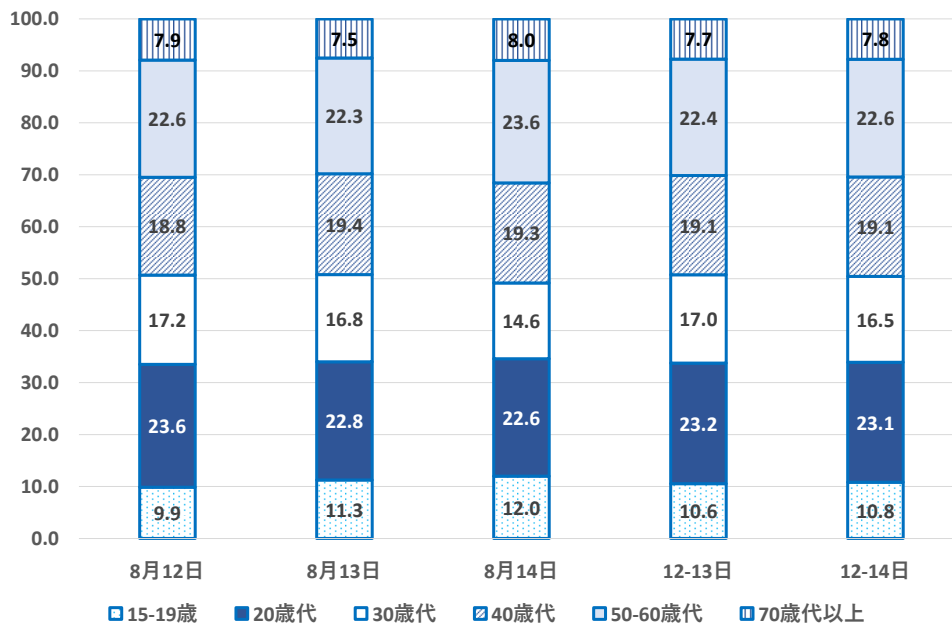
注: 来場者数の単位は人。割合は%。

³ ただし、同年齢人口は総人口から 14 歳以下と 90 歳以上人口を控除しているが、「国勢調査」のメッシュ人口では、90 歳以上の人口区分が存在せず、85 歳以上と 95 歳以上の人口区分でしか人数を把握できないため、85 歳以上人口から 95 歳以上人口を控除して単純に 2 で割ることで、90 歳以上人口を算出した。

(3) 開催日別・年齢区分別来場者数

開催日別・年齢区分別来場者数は、図表 2-5 に示す通りである。15-19 歳は 10%前後、20 歳代は 20%台前半、30 歳代は 15%前後、40 歳代は 20%弱、50 歳代は 14-15%台、60 歳代は 7-8%台、70 歳代は 5%台、80 歳代は 1-2%台であり、20 歳代以下で 1/3 程度、30 歳代までで 50%程度を占めており、若年層の来場者が多い。

図表 2-5. 開催日別・年齢区分来場者数と割合



	来場者数			割合		
	8月12日	8月13日	8月14日	8月12日	8月13日	8月14日
15-19歳	7,284	8,030	4,035	9.9	11.3	12.0
20歳代	17,461	16,223	7,585	23.6	22.8	22.6
30歳代	12,696	11,968	4,904	17.2	16.8	14.6
40歳代	13,896	13,835	6,477	18.8	19.4	19.3
50歳代	10,616	10,330	5,275	14.4	14.5	15.7
60歳代	6,046	5,557	2,647	8.2	7.8	7.9
70歳代	4,268	4,091	1,837	5.8	5.7	5.5
80歳代	1,581	1,274	846	2.1	1.8	2.5
計	73,848	71,308	33,606	100.0	100.0	100.0

注: 来場者数の単位は人。割合は%。上段の図は開催日別の年齢区分別の来場者割合。

(4) 都道府県別来場者数

2023 年徳島市阿波おどりの開催日別・都道府県別来場者数と割合は、図表 2-6 から図表 2-9 に示す通りである。

上述の通り、都道府県別来場者数は、一部の県からの来場者がプライバシー保護の観点から秘匿化され欠落しているため、まず、開催日別に来場者総数と都道府県合計人数との差を算出し、つぎに、その差を欠落した県に人口比で按分して割り振っている。例えば、8 月 12 日は岩手県と秋田県の人数が把握できないため、来場者総数と都道府県合計との差である 33 人を、二つの県の総人口の合計に対する各県の総人口割合で按分してそれぞれ 18 人と 15 人を割り振った。同様に、8 月 13 日と 14 日は来場者総数と都道府県合計との差である 33 人と 317 人をそれぞれ 3 県と 16 県に割り振った(図表 2-8 参照)。

以下では、徳島阿波おどりにどの都道府県からどの程度の来場者が訪れたかを具体的に明らかにするために、①都道府県別の来場者数と割合と、徳島阿波おどりに来場する確率が高い都道府県を把握するために、②人口 1 万人当たりの都道府県別来場者数を確認する。

①都道府県別の来場者数と割合

図表 2-8 と図表 2-9 には都道府県別の来場者数と割合をまとめている。図表 2-6 と図表 2-7 は、図表 2-8 と図表 2-9 をそれぞれ図示したものである。

まず、徳島県内の来場者を見ると、図表 2-8 より、8 月 12 日と 13 日共に 42,300 人台、8 月 14 日は 21,973 人、8 月 12 日と 13 日を合わせて 84,682 人、14 日までの 3 日間では合わせて 106,655 人の来場があった。図表 2-9 より、都道府県別割合を見ると、8 月 12 日と 13 日は全来場者の 60%弱、8 月 14 日は 65.4%であり、8 月 12 日から 14 日までの 3 日間では約 60%の来場者が徳島県内居住者である。

つぎに、図表 2-6 と図表 2-8 より、8 月 12-13 日の 2 日間の都道府県別の来場者数(日別ユニーク合計)の特徴を整理すると以下の通りである。

(a)来場者数の多い地域

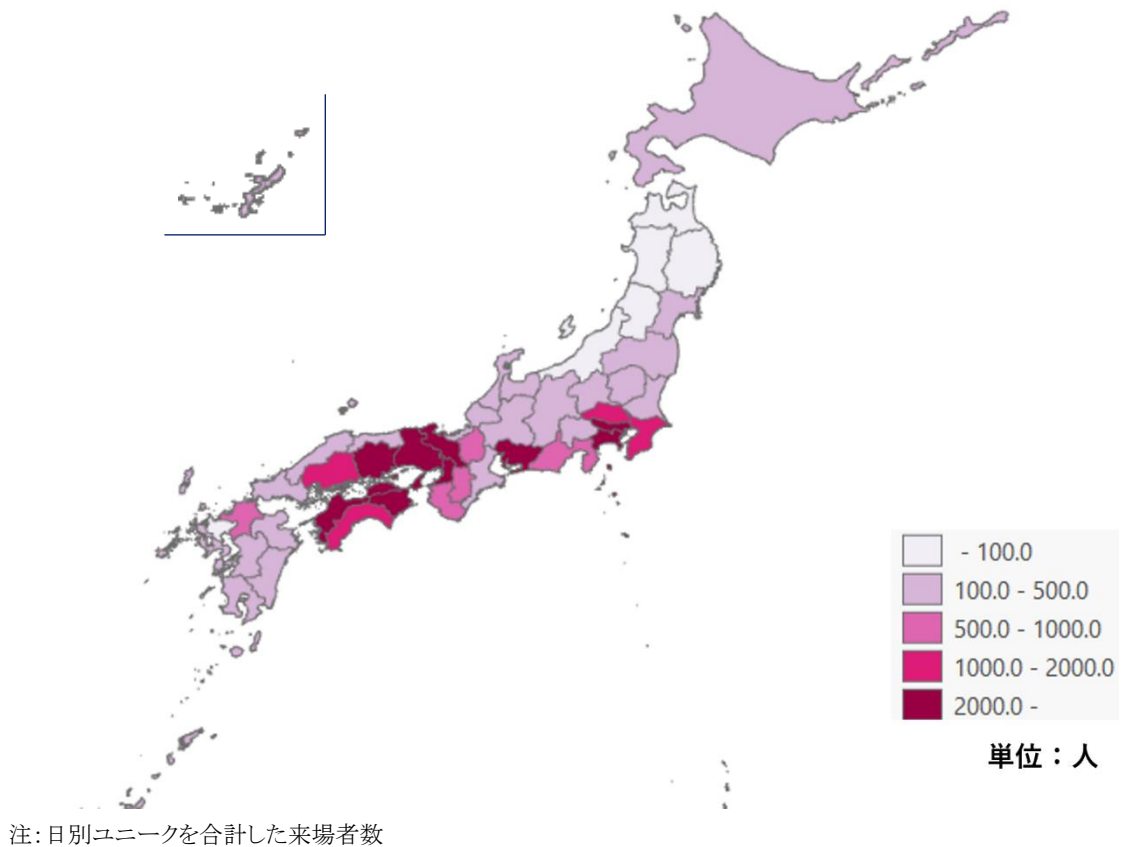
来場者数が 1 万人を超えたのは徳島県と大阪府のみであり、2,000 人以上ではこの 2 府県に加えて 8 都府県(兵庫県、東京都、香川県、愛媛県、神奈川県、愛知県、京都府、岡山県)になる。1,000 人台は 4 県(広島県、千葉県、埼玉県、高知県)である。

(b)来場者数の少ない地域

他方で、100 人台は沖縄県、群馬県、熊本県、鹿児島県、大分県、宮崎県、長崎県で群馬県以外は九州・沖縄地方である。さらに、100 人未満は佐賀県、新潟県と東北地方(山形県、青森県、岩手県、秋田県)である。

阿波おどりへの来場者は、距離的には遠いわけではないか交通アクセスで他地域に劣る九州地方(福岡県を除く)で少なく、距離的に離れた東北地方や新潟県ではさらに少ない。

図表 2-6. 8 月 12-13 日の都道府県別来場者数



また、図表 2-7 と図表 2-9 より、8 月 12-13 日の 2 日間の来場者数の都道府県別割合の特徴をまとめると、以下の通りである。

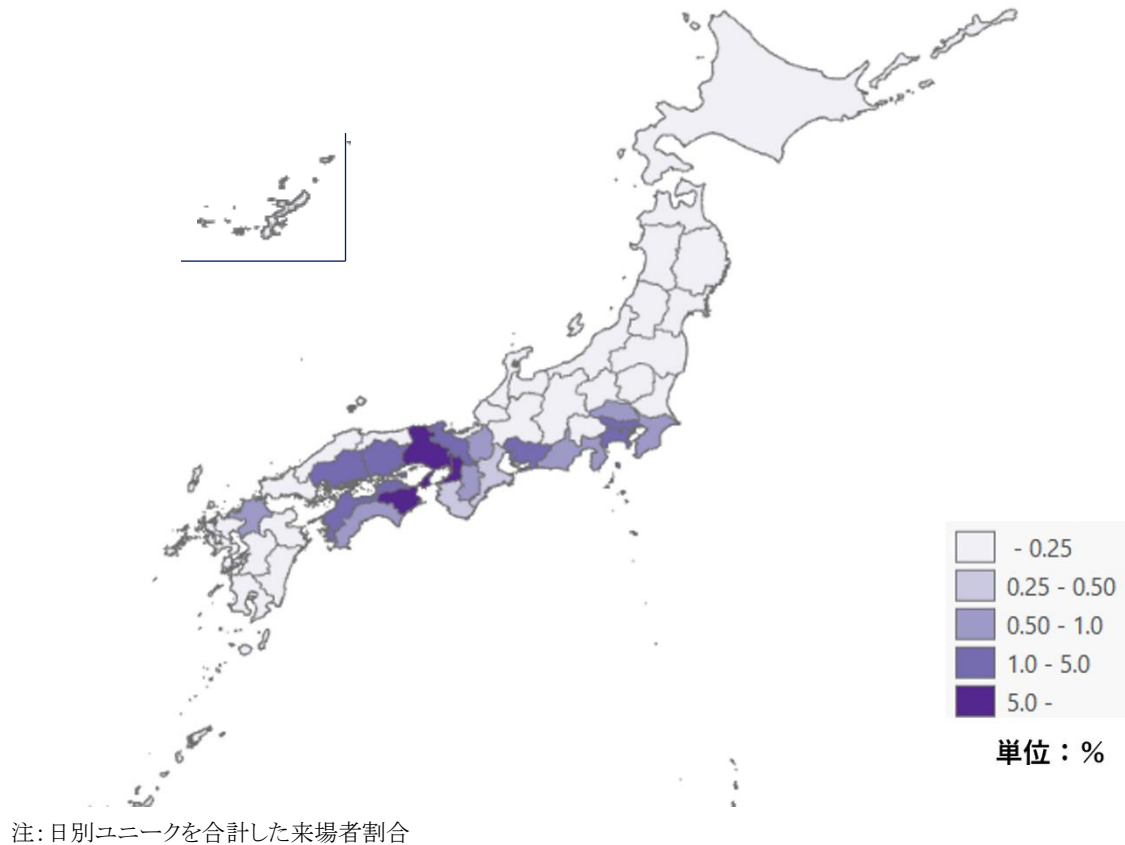
(a) 来場者割合の高い地域

来場者数は、60%が徳島県に集中しており、その他に 5%を超えたのは、大阪府と兵庫県のみである。これらの 3 府県のみで全体の 73.8%を占めている。ついで、1~5%未満は 8 都府県(東京都、香川県、愛媛県、神奈川県、愛知県、京都府、岡山県、広島県)であり、主な来場者は、徳島県民、大都市圏を抱える都府県、四国地方の香川県と愛媛県の居住者である。

(b) 来場者割合の低い地域

他方で、0.25%未満は 27 道県に上るが、さらに 0.1%未満となると、熊本県、鹿児島県、大分県、宮崎県、長崎県、佐賀県、新潟県、山形県、青森県、岩手県、秋田県の 11 県で、地理的には、九州地方と東北地方および新潟県に集中している。

図表 2-7. 8月 12-13 日の都道府県別来場者割合



さらに、8月 12-13 日の 2 日間の徳島県を除く上位 5 は、大阪府から 12,105 人(8.3%)、兵庫県から 9,610 人(6.6%)、東京都から 6,606 人(4.6%)、香川県から 5,477 人(3.8%)、愛媛県から 2,915 人(2.0%) の来場者があった。つづいて、神奈川県(1.9%)、愛知県(1.6%)、京都府(1.6%)、岡山県(1.4%)、広島県(1.2%) の 5 県が 1% 台である。

以上のことから、阿波おどりへの来場者数や割合が高い都道府県の特徴は、三大都市圏の特に関西圏と東京圏、四国地方及び中国地方の近隣県であることが確認できる⁴。

⁴ 14 日は台風の接近が予想されたため、特に遠方から来場者が予定をキャンセルして地理的分布に偏りが生じた可能性があるが、同様に、8月 12-14 日の 3 日間を見ると、上位 5 は、大阪府から 14,172 人(7.9%)、兵庫県から 11,069 人(6.2%)、東京都から 8,171 人(4.6%)、香川県から 6,877 人(3.9%)、愛媛県から 3,572 人(2.0%) の来場者があった。つづいて、1% 台は神奈川県(1.8%)、愛知県(1.6%)、京都府(1.6%)、岡山県(1.4%)、広島県(1.2%) の 5 県である。

図表 2-8. 都道府県別来場者数

順位	都道府県	阿波おどりエリア来場者人数(人)				
		12日 (a)	13日 (b)	14日 (c)	12-13日 (d)	12-14日 (e)
1	徳島県	42,350	42,332	21,973	84,682	106,655
2	大阪府	6,119	5,986	2,067	12,105	14,172
3	兵庫県	4,752	4,858	1,459	9,610	11,069
4	東京都	3,652	2,954	1,565	6,606	8,171
5	香川県	2,678	2,799	1,400	5,477	6,877
6	愛媛県	1,453	1,462	657	2,915	3,572
7	神奈川県	1,573	1,137	478	2,710	3,188
8	愛知県	1,235	1,143	511	2,378	2,889
9	京都府	1,178	1,162	546	2,340	2,886
10	岡山県	958	1,130	395	2,088	2,483
11	広島県	808	965	404	1,773	2,177
12	千葉県	703	526	243	1,229	1,472
13	埼玉県	699	464	185	1,163	1,348
14	高知県	604	483	236	1,087	1,323
15	福岡県	473	460	214	933	1,147
16	奈良県	430	408	85	838	923
17	静岡県	513	288	130	801	931
18	滋賀県	405	350	85	755	840
19	和歌山県	324	231	74	555	629
20	三重県	228	219	86	447	533
21	岐阜県	153	180	54	333	387
22	北海道	212	117	46	329	375
23	山口県	159	166	77	325	402
24	福島県	160	90	30	250	280
25	石川県	129	118	76	247	323
26	茨城県	157	90	57	247	304
27	鳥取県	153	91	9	244	253
28	長野県	125	111	25	236	261
29	富山県	139	78	17	217	234
30	山梨県	137	74	14	211	225
31	宮城県	119	80	26	199	225
32	島根県	111	73	11	184	195
33	福井県	86	85	13	171	184
34	栃木県	90	76	41	166	207
35	沖縄県	91	74	23	165	188
36	群馬県	106	59	32	165	197
37	熊本県	67	67	28	134	162
38	鹿児島県	76	54	37	130	167
39	大分県	73	53	18	126	144
40	宮崎県	88	31	17	119	136
41	長崎県	68	48	21	116	137
42	佐賀県	48	47	29	95	124
43	新潟県	54	36	37	90	127
44	山形県	42	22	18	64	82
45	青森県	37	12	21	49	70
46	岩手県	18	12	20	30	50
47	秋田県	15	9	16	24	40
	計	73,848	71,310	33,606	145,158	178,764

注 1: 来場者数の単位は人。12-13 日の来場者数(日別ユニークの合計)を降順でソートしたもの。

注 2: 太字で示した 12 日の岩手県と秋田県, 13 日の 3 県, 14 日の 16 県の人数は来場者総数と都道府県合計との差を人口比で按分したもの。

図表 2-9. 都道府県別来場者割合

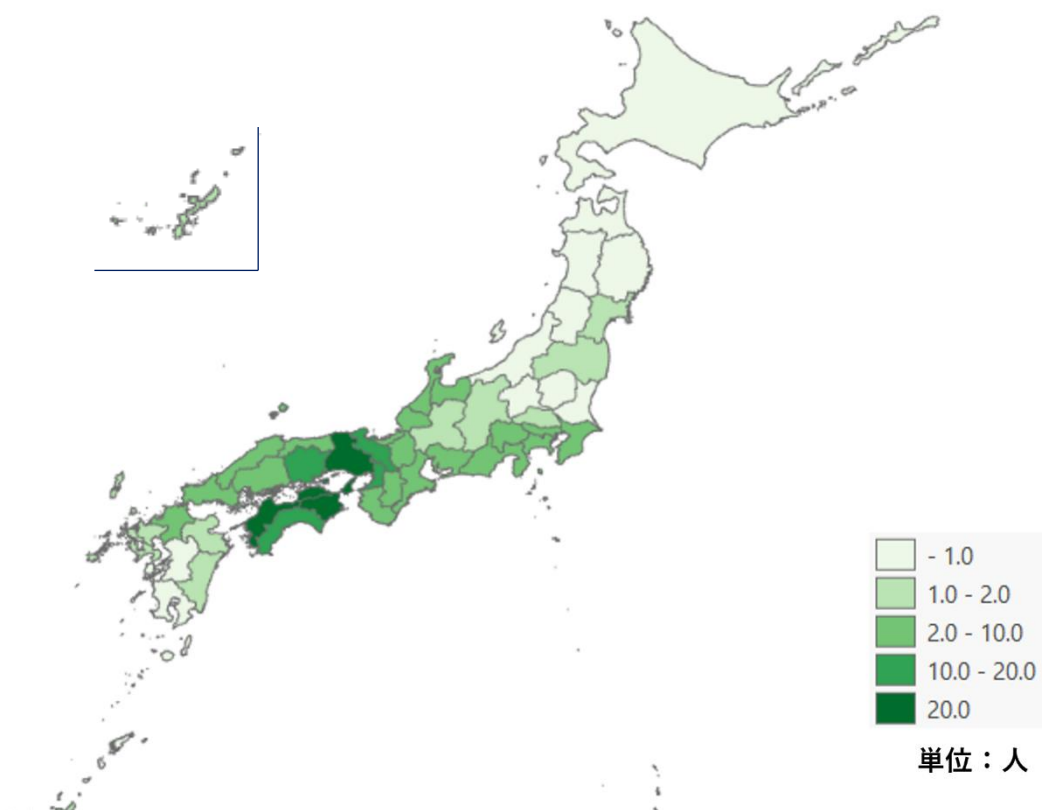
順位	都道府県	阿波おどりエリア来場者割合 (%)				
		12日 (f)	13日 (g)	14日 (h)	12-13日 (i)	12-14日 (j)
1	徳島県	57.35	59.36	65.38	58.34	59.66
2	大阪府	8.29	8.39	6.15	8.34	7.93
3	兵庫県	6.43	6.81	4.34	6.62	6.19
4	東京都	4.95	4.14	4.66	4.55	4.57
5	香川県	3.63	3.93	4.17	3.77	3.85
6	愛媛県	1.97	2.05	1.96	2.01	2.00
7	神奈川県	2.13	1.59	1.42	1.87	1.78
8	愛知県	1.67	1.60	1.52	1.64	1.62
9	京都府	1.60	1.63	1.62	1.61	1.61
10	岡山県	1.30	1.58	1.18	1.44	1.39
11	広島県	1.09	1.35	1.20	1.22	1.22
12	千葉県	0.95	0.74	0.72	0.85	0.82
13	埼玉県	0.95	0.65	0.55	0.80	0.75
14	高知県	0.82	0.68	0.70	0.75	0.74
15	福岡県	0.64	0.65	0.64	0.64	0.64
16	奈良県	0.58	0.57	0.25	0.58	0.52
17	静岡県	0.69	0.40	0.39	0.55	0.52
18	滋賀県	0.55	0.49	0.25	0.52	0.47
19	和歌山県	0.44	0.32	0.22	0.38	0.35
20	三重県	0.31	0.31	0.26	0.31	0.30
21	岐阜県	0.21	0.25	0.16	0.23	0.22
22	北海道	0.29	0.16	0.14	0.23	0.21
23	山口県	0.22	0.23	0.23	0.22	0.22
24	福島県	0.22	0.13	0.09	0.17	0.16
25	石川県	0.17	0.17	0.23	0.17	0.18
26	茨城県	0.21	0.13	0.17	0.17	0.17
27	鳥取県	0.21	0.13	0.03	0.17	0.14
28	長野県	0.17	0.16	0.07	0.16	0.15
29	富山県	0.19	0.11	0.05	0.15	0.13
30	山梨県	0.19	0.10	0.04	0.15	0.13
31	宮城県	0.16	0.11	0.08	0.14	0.13
32	島根県	0.15	0.10	0.03	0.13	0.11
33	福井県	0.12	0.12	0.04	0.12	0.10
34	栃木県	0.12	0.11	0.12	0.11	0.12
35	沖縄県	0.12	0.10	0.07	0.11	0.11
36	群馬県	0.14	0.08	0.10	0.11	0.11
37	熊本県	0.09	0.09	0.08	0.09	0.09
38	鹿児島県	0.10	0.08	0.11	0.09	0.09
39	大分県	0.10	0.07	0.05	0.09	0.08
40	宮崎県	0.12	0.04	0.05	0.08	0.08
41	長崎県	0.09	0.07	0.06	0.08	0.08
42	佐賀県	0.06	0.07	0.09	0.07	0.07
43	新潟県	0.07	0.05	0.11	0.06	0.07
44	山形県	0.06	0.03	0.05	0.04	0.05
45	青森県	0.05	0.02	0.06	0.03	0.04
46	岩手県	0.02	0.02	0.06	0.02	0.03
47	秋田県	0.02	0.01	0.05	0.02	0.02
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注: 来場者数の単位は人. 12-13 日の来場者数(日別ユニークの合計)割合を降順でソートしたもの.

②都道府県人口 1 万人当たりの来場者数

徳島市阿波おどりに来場する確率が高い都道府県を把握するために、図表 2-10 と図表 2-11 には、来場者数と人口1万人当たりの来場者数を都道府県別に示している。なお、都道府県 1 万人当たりの来場者数算出の分母に用いた人口は、「モバイル空間統計」の対象年齢と合わせるために、15-89 歳人口で定義されている。

図表 2-10. 8 月 12-13 日の都道府県人口 1 万人当たりの来場者数



注 1: 2020 年「国勢調査」の 15 歳から 89 歳までの人口を都道府県別人口とした。

注 2: 日別ユニークを合計した来場者数。

8 月 12-13 日の 2 日間の都道府県別 1 万人当たり来場者数(日別ユニーク合計)の特徴は以下の通りである。

(a) 1 万人当たりの来場者数の割合の高い地域

徳島県が 1,358 人で突出して高いが、20 人を超えるのは香川県(67.3 人)、愛媛県(25.4 人)、兵庫県(20.4 人)の 3 県、10 人台は高知県(18.3 人)、大阪府(15.8 人)、岡山県(12.9 人)、京都府(10.5 人)の 4 府県のみであり、広島県(7.4 人)、奈良県(7.3 人)、和歌山県(7.0 人)が続く。人口比で見ると来場者数が多いのは、四国地方の 3 県、関西地方の大都市圏、中国地方の近県であ

る。他方で、来場者数が4位であった東京都は、1万人当たり5.4人で13位、同じく7位の神奈川県は1万人当たり3.4人で16位である⁵。

(b)1万人当たりの来場者数の割合の低い地域

他方で、1万人当たり来場者数が、1人台は10県(岐阜県、埼玉県、福島県、佐賀県、沖縄県、長野県、宮崎県、大分県、長崎県、宮城県)であり、さらに1人未満は茨城県、栃木県、群馬県、鹿児島県、熊本県、北海道、山形県、新潟県、青森県、岩手県、秋田県の11道県であり、北海道・東北地方、北関東、南九州に集中している。

⁵ なお、14日は台風の接近が予想されたため、特に遠方から来場者が予定をキャンセルして地理的分布に偏りが生じた可能性があるが、同様に、8月12日から14日までの3日間の1万人当たりの来場者数を見ると、徳島県は県民1万人当たり1,711人が来場している。徳島県を除く上位10を見ると、香川県からは85人、愛媛県からは31人、兵庫県からは24人、高知県からは22人、大阪府からは18人、岡山県からは15人、京都府からは13人、広島県からは9人、奈良県からは8人、和歌山県からは8人であり、四国3県と関西地方の大都市圏が上位で、中国地方の近県、関西地方の府県が続く。なお、来場者数が4位の東京都は、1万人当たり6.7人である。

図表 2-11. 都道府県別来場者数と1万人当たりの来場者数

順位	都道府県	阿波おどリエリア来場者人数/1万人(人)					対象人口 (万人) (k)
		12日 (a/k)	13日 (b/k)	14日 (c/k)	12-13日 (d/k)	12-14日 (e/k)	
1	徳島県	679.2	678.9	352.4	1,358.1	1,710.5	62.4
2	香川県	32.9	34.4	17.2	67.3	84.5	81.3
3	愛媛県	12.7	12.8	5.7	25.4	31.2	114.6
4	兵庫県	10.1	10.3	3.1	20.4	23.5	470.6
5	高知県	10.2	8.1	4.0	18.3	22.2	59.5
6	大阪府	8.0	7.8	2.7	15.8	18.5	768.1
7	岡山県	5.9	7.0	2.4	12.9	15.4	161.6
8	京都府	5.3	5.2	2.4	10.5	12.9	223.6
9	広島県	3.4	4.0	1.7	7.4	9.1	238.8
10	奈良県	3.8	3.6	0.7	7.3	8.1	114.4
11	和歌山県	4.1	2.9	0.9	7.0	7.9	79.4
12	滋賀県	3.4	2.9	0.7	6.3	7.0	119.8
13	東京都	3.0	2.4	1.3	5.4	6.7	1,228.4
14	鳥取県	3.3	1.9	0.2	5.2	5.4	46.9
15	愛知県	1.9	1.8	0.8	3.7	4.5	646.7
16	神奈川県	2.0	1.4	0.6	3.4	4.0	801.8
17	島根県	2.0	1.3	0.2	3.2	3.4	56.8
18	山梨県	2.0	1.1	0.2	3.0	3.2	69.9
19	三重県	1.5	1.4	0.6	2.9	3.5	152.4
20	山口県	1.4	1.4	0.7	2.8	3.5	115.4
21	福井県	1.3	1.3	0.2	2.6	2.8	65.3
22	静岡県	1.6	0.9	0.4	2.6	3.0	312.2
23	石川県	1.3	1.2	0.8	2.5	3.3	97.1
24	富山県	1.6	0.9	0.2	2.4	2.6	89.4
25	千葉県	1.3	1.0	0.4	2.3	2.7	546.1
26	福岡県	1.1	1.1	0.5	2.1	2.6	437.8
27	岐阜県	0.9	1.1	0.3	2.0	2.3	169.9
28	埼玉県	1.1	0.7	0.3	1.8	2.1	639.4
29	福島県	1.0	0.6	0.2	1.6	1.8	158.3
30	佐賀県	0.7	0.7	0.4	1.4	1.8	68.3
31	沖縄県	0.8	0.6	0.2	1.4	1.6	120.1
32	長野県	0.7	0.6	0.1	1.4	1.5	174.8
33	宮崎県	1.0	0.3	0.2	1.3	1.5	90.2
34	大分県	0.8	0.6	0.2	1.3	1.5	95.9
35	長崎県	0.6	0.4	0.2	1.0	1.2	111.4
36	宮城県	0.6	0.4	0.1	1.0	1.1	198.9
37	茨城県	0.6	0.4	0.2	1.0	1.2	248.1
38	栃木県	0.5	0.5	0.2	1.0	1.2	167.0
39	群馬県	0.6	0.4	0.2	1.0	1.2	167.5
40	鹿児島県	0.6	0.4	0.3	1.0	1.2	133.9
41	熊本県	0.5	0.5	0.2	0.9	1.1	146.4
42	北海道	0.5	0.3	0.1	0.7	0.8	455.3
43	山形県	0.5	0.2	0.2	0.7	0.9	91.7
44	新潟県	0.3	0.2	0.2	0.5	0.7	189.6
45	青森県	0.3	0.1	0.2	0.5	0.6	108.2
46	岩手県	0.2	0.1	0.2	0.3	0.5	104.7
47	秋田県	0.2	0.1	0.2	0.3	0.5	83.8

注 1:単位:人/万人。表は、12-13 日の 1 万人当たり来場者数(日別ユニークの合計)を降順でソートしたもの。

注 2:人口割合は、2020 年「国勢調査」より、総人口から 14 歳以下人口と 90 歳以上人口を除いた人口の都道府県別割合。

(5) 市町村別来場者数

ここでは、2023年の徳島市阿波おどりの開催日別・市町村別来場者数と市町村人口1万人当たりの来場者数を日別ユニークで把握する。

「モバイル空間統計」では市区町村単位の来場者数が少人数の場合等において秘匿処理がなされるために、8月12日は183市区町村、8月13日は169市区町村、8月14日は98市区町村のみで来場者数が報告されている。ただし、図表2-2[1]で確認したように、全体の来場者総数と市区町村別来場者数の合計には、8月12日で7,100人、8月13日で6,376人、8月14日で4,736人の差が生じていたことから、上記の市区町村数が、実際に来場者がいた市町村ではなく、来場者がいても人数が報告されていない市区町村が多数存在している。

また、図表2-2[2]で見たように、8月12日は21人、8月13日は18人、8月14日は25人が最低人数であるため、1人から20名前後の来場者があった市区町村が欠落しているの、かりに、8月12日の差7,100人を例にすると、欠落したすべての市区町村から20人の来場者があったとした場合には355市区町村が欠落し、10人の来場者があったとした場合には710市区町村が欠落することになる。

この点は、1万人当たりの来場者数を見る場合に問題となる。1万人当たりの来場者数を計算できるのは、来場者数がおおむね20人以上の市区町村のみであるためである。たとえば、人口1,000人の村から10人の来場者があった場合には、10人なのでデータは欠落してしまうが、1万人換算をすれば100人の来場者がある自治体となる。また、高知県は、都道府県単位で見れば、8月12日と13日の2日間の来場者数は1,087人で上位14位(図表2-8)、1万人当たり来場者数は18.3人で上位5位(図表2-11)であるが、34市町村のうち、市町村別来場者数が1日でも報告されたのは、高知市、南国市、四万十市、香美市の4市のみであり、8月12日と13日の両日ともに人数が報告されたのは、高知市のみであった⁶。

このように、市町村別集計は、報告されない市区町村が多数存在することや小規模自治体の来場者数が把握されないという点にも留意する必要がある。

①市区町村別来場者数

都道府県別にみると、8月12-13日の来場者数(日別ユニーク合計)の上位10都府県のうち、徳島県が84,682人で全体の58.3%を占めており、ついで、大阪府、兵庫県、東京都、香川県、愛媛県、神奈川県、愛知県、京都府、岡山県が挙げられた(図表2-8と図表2-9参照)。

以下では、徳島県内と県外を分けて、どの市区町村からの来場者数の多いのかを明らかにする。

⁶ 高知県内では高知市以外は自治体の人口規模が5万人未満で小規模の自治体が多いことが影響したとみられる。

図表 2-12. 8月 12-13 日の徳島県内市町村別来場者数

[1] 来場者数

順位	地域	市区町村	阿波おどリエリア来場者人数(人)				
			12日 (a)	13日 (b)	14日 (c)	12-13日 (d)	12-14日 (e)
1	東部	徳島市	25,707	24,512	13,912	50,219	64,131
2	南部	阿南市	2,450	2,639	1,220	5,089	6,309
3	東部	鳴門市	2,151	2,479	1,141	4,630	5,771
4	東部	藍住町	2,115	2,125	976	4,240	5,216
5	東部	小松島市	1,831	1,902	982	3,733	4,715
6	東部	北島町	1,431	1,472	657	2,903	3,560
7	東部	石井町	1,353	1,320	572	2,673	3,245
8	東部	吉野川市	1,076	1,287	678	2,363	3,041
9	東部	阿波市	915	1,029	394	1,944	2,338
10	東部	松茂町	934	918	384	1,852	2,236
11	東部	板野町	562	675	239	1,237	1,476
12	東部	上板町	435	429	175	864	1,039
13	西部	美馬市	294	343	179	637	816
14	東部	勝浦町	191	209	61	400	461
15	西部	三好市	124	201	78	325	403
16	東部	神山町	149	134	50	283	333
17	南部	那賀町	127	126	47	253	300
18	南部	美波町	136	114	43	250	293
19	西部	東みよし町	94	112	32	206	238
20	西部	つるぎ町	80	102	32	182	214
21	南部	海陽町	58	84	47	142	189
22	東部	佐那河内村	77	56	36	133	169
23	南部	牟岐町	29	54	28	83	111
24	東部	上勝町	31	10	10	41	51
	徳島県	計	42,350	42,332	21,973	84,682	106,655

[2] 来場者割合

順位	地域	市区町村	阿波おどリエリア来場者割合(%)				
			12日 (f)	13日 (g)	14日 (h)	12-13日 (i)	12-14日 (j)
1	東部	徳島市	60.70	57.90	63.31	59.30	60.13
2	南部	阿南市	5.79	6.23	5.55	6.01	5.92
3	東部	鳴門市	5.08	5.86	5.19	5.47	5.41
4	東部	藍住町	4.99	5.02	4.44	5.01	4.89
5	東部	小松島市	4.32	4.49	4.47	4.41	4.42
6	東部	北島町	3.38	3.48	2.99	3.43	3.34
7	東部	石井町	3.19	3.12	2.60	3.16	3.04
8	東部	吉野川市	2.54	3.04	3.09	2.79	2.85
9	東部	阿波市	2.16	2.43	1.79	2.30	2.19
10	東部	松茂町	2.21	2.17	1.75	2.19	2.10
11	東部	板野町	1.33	1.59	1.09	1.46	1.38
12	東部	上板町	1.03	1.01	0.80	1.02	0.97
13	西部	美馬市	0.69	0.81	0.81	0.75	0.77
14	東部	勝浦町	0.45	0.49	0.28	0.47	0.43
15	西部	三好市	0.29	0.47	0.35	0.38	0.38
16	東部	神山町	0.35	0.32	0.23	0.33	0.31
17	南部	那賀町	0.30	0.30	0.21	0.30	0.28
18	南部	美波町	0.32	0.27	0.20	0.30	0.27
19	西部	東みよし町	0.22	0.26	0.15	0.24	0.22
20	西部	つるぎ町	0.19	0.24	0.15	0.21	0.20
21	南部	海陽町	0.14	0.20	0.21	0.17	0.18
22	東部	佐那河内村	0.18	0.13	0.16	0.16	0.16
23	南部	牟岐町	0.07	0.13	0.13	0.10	0.10
24	東部	上勝町	0.07	0.02	0.05	0.05	0.05
	徳島県	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注: 12-13 日(日別ユニークの合計)を降順でソート.

(a)徳島県内市区町村

図表 2-12 は、徳島県内の開催日別・市町村別来場者数と割合である。

徳島県内の市町村では、徳島市が最も多く、8月12日は25,707人、13日は24,512人であり、8月12-13日の2日間(日別ユニーク合計)では50,219人と5万人を超え、県内来場者の60%程度を占めている。ついで、阿南市、鳴門市、藍住町、小松島市までが8月12-13日の2日間で3,000人を超え、この上位5市町で県内来場者の80%程度を占める⁷。

徳島県内の来場者数の特徴をまとめると、県東部地域に位置する市町や阿南市が上位を占めていることから、徳島市に地理的に近い地域や人口規模が大きい地域からの多くの来場者があることが確認できる。

(b)徳島県外市区町村

図表 2-13 は、徳島県を除く全国の市区町村のうち、上位100市区町村の開催日別来場者数である。

大阪市、神戸市、高松市、京都市、松山市、横浜市、岡山市、西宮市、堺市、名古屋市が8月12-13日の2日間(日別ユニーク合計)の上位10市であり、西宮市までの8市が1,000人を超えている。関東地方や東海地方の横浜市や名古屋市が含まれるが、関西圏の大都市、四国の県庁所在地からの来場者が多いことが確認できる。11位から20位までは、高知市、世田谷区、広島市、尼崎市、川崎市、吹田市、姫路市、東大阪市、豊中市、倉敷市であり、関西地方の中核市(尼崎市、吹田市、姫路市、東大阪市、豊中市)が多く含まれる。

図表 2-14 より、上位100までの市区町村を都道府県別に集計すると、まず、上位50までの市区町村が最も多いのが、大阪府の10市、ついで東京都の9区、兵庫県の8市となる。四国地方の香川県は高松市、丸亀市、東かがわ市、観音寺市、さぬき市の5市、愛媛県は、松山市、新居浜市、四国中央市、今治市、西条市の5市が上位50までに含まれる。

つぎに、50-100位までの市区町村が最も多いのが、東京都の11市区、ついで大阪府の7市、兵庫県の7市となる。四国地方の香川県は坂出市、三豊市、善通寺市、宇多津町、多度津町、三木町の6市町が50-100位に含まれる。

⁷ 図表 2-15 には、8月12-13日の徳島県内市町村の来場者数を地図上に示している。

図表 2-13. 8月 12-13 日の来場者数上位 100 市区町村

[1] 上位 50 市区町村

順位	都道府県	市区町村	阿波おどリエリア来場者人数(人)				
			12日 (a)	13日 (b)	14日 (c)	12-13日 (d)	12-14日 (e)
1	大阪府	大阪市	2,464	2,209	931	4,673	5,604
2	兵庫県	神戸市	1,753	1,751	554	3,504	4,058
3	香川県	高松市	1,504	1,385	711	2,889	3,600
4	京都府	京都市	723	774	364	1,497	1,861
5	愛媛県	松山市	684	572	342	1,256	1,598
6	神奈川県	横浜市	725	529	219	1,254	1,473
7	岡山県	岡山市	547	606	221	1,153	1,374
8	兵庫県	西宮市	597	493	164	1,090	1,254
9	大阪府	堺市	452	489	128	941	1,069
10	愛知県	名古屋市	503	376	189	879	1,068
11	高知県	高知市	405	331	175	736	911
12	東京都	世田谷区	355	348	153	703	856
13	広島県	広島市	344	355	207	699	906
14	兵庫県	尼崎市	356	329	146	685	831
15	神奈川県	川崎市	409	264	105	673	778
16	大阪府	吹田市	343	325	118	668	786
17	兵庫県	姫路市	274	334	76	608	684
18	大阪府	東大阪市	271	298	113	569	682
19	大阪府	豊中市	315	244	82	559	641
20	岡山県	倉敷市	183	309	64	492	556
21	大阪府	枚方市	222	263	73	485	558
22	兵庫県	南あわじ市	224	261	76	485	561
23	香川県	丸亀市	236	244	128	480	608
24	東京都	杉並区	234	242	203	476	679
25	大阪府	高槻市	208	260	55	468	523
26	兵庫県	明石市	182	278	60	460	520
27	大阪府	茨木市	238	214	59	452	511
28	広島県	福山市	162	260	61	422	483
29	愛媛県	新居浜市	160	260	70	420	490
30	兵庫県	洲本市	159	230	40	389	429
31	福岡県	福岡市	166	193	105	359	464
32	香川県	東かがわ市	132	226	66	358	424
33	大阪府	八尾市	156	201		357	
34	和歌山県	和歌山市	203	141	54	344	398
35	東京都	練馬区	206	137	61	343	404
36	愛媛県	四国中央市	141	200	67	341	408
37	愛媛県	今治市	166	169	50	335	385
38	東京都	品川区	185	142	73	327	400
39	兵庫県	加古川市	175	143	40	318	358
40	愛媛県	西条市	173	135	43	308	351
41	香川県	観音寺市	115	185	117	300	417
42	埼玉県	さいたま市	182	107	45	289	334
43	東京都	大田区	145	138	99	283	382
44	香川県	さぬき市	141	139	83	280	363
45	東京都	江戸川区	115	164	40	279	319
46	東京都	港区	147	131	51	278	329
47	大阪府	寝屋川市	112	165	49	277	326
48	愛知県	豊田市	128	147	60	275	335
49	東京都	目黒区	156	105	76	261	337
50	東京都	渋谷区	135	118	68	253	321

[2] 51-100位市区町村

順位	都道府県	市区町村	阿波おどリエリア来場者人数(人)				
			12日 (a)	13日 (b)	14日 (c)	12-13日 (d)	12-14日 (e)
51	滋賀県	大津市	138	112		250	
52	東京都	江東区	159	80		239	
53	東京都	新宿区	163	75	63	238	301
54	大阪府	守口市	113	121	48	234	282
55	東京都	中野区	143	90	64	233	297
56	奈良県	奈良市	126	106		232	
57	大阪府	岸和田市	128	98		226	
58	兵庫県	宝塚市	138	84	55	222	277
59	兵庫県	三田市	108	109		217	
60	大阪府	箕面市	123	89		212	
61	兵庫県	伊丹市	111	97		208	
62	香川県	坂出市	116	92	59	208	267
63	香川県	三豊市	69	137	63	206	269
64	千葉県	千葉市	97	108	32	205	237
65	福岡県	北九州市	107	96		203	
66	千葉県	市川市	117	84	39	201	240
67	広島県	東広島市	102	98	41	200	241
68	静岡県	浜松市	108	89	29	197	226
69	東京都	文京区	121	69	49	190	239
70	大阪府	和泉市	62	126		188	
71	東京都	板橋区	98	89	35	187	222
72	大阪府	大東市	98	85		183	
73	千葉県	船橋市	96	78	49	174	223
74	兵庫県	川西市	82	91		173	
75	静岡県	静岡市	124	48		172	
76	兵庫県	淡路市	69	102		171	
77	東京都	八王子市	82	87	50	169	219
78	宮城県	仙台市	103	63		166	
79	東京都	北区	85	79		164	
80	兵庫県	高砂市	80	82		162	
81	東京都	中央区	104	57	27	161	188
82	香川県	善通寺市	80	81	37	161	198
83	東京都	足立区	86	68	41	154	195
84	兵庫県	芦屋市	88	63	44	151	195
85	東京都	豊島区	74	76		150	
86	滋賀県	草津市	77	73		150	
87	北海道	札幌市	89	52		141	
88	広島県	呉市	55	85		140	
89	香川県	宇多津町	60	80	34	140	174
90	神奈川県	相模原市	65	74		139	
91	愛知県	岡崎市	72	67		139	
92	東京都	墨田区	56	78	29	134	163
93	石川県	金沢市	65	63	35	128	163
94	京都府	八幡市	68	57		125	
95	埼玉県	越谷市	75	49		124	
96	香川県	多度津町	66	58		124	
97	埼玉県	川口市	64	59		123	
98	大阪府	池田市	45	78		123	
99	香川県	三木町	52	69	38	121	159
100	大阪府	門真市	73	46	41	119	160

注: 空欄は秘匿等のために来場者数が示されなかったことを示す。12-13日(d)を降順でソート。

図表 2-14. 8 月 12-13 日の来場者数上位 100 市区町村の都道府県別集計結果

都道府県	上位 1-50	上位 50-100	上位 1-100
東京都	9	11	20
大阪府	10	7	17
兵庫県	8	7	15
香川県	5	6	11
愛媛県	5	0	5
広島県	2	2	4
神奈川県	2	1	3
愛知県	2	1	3
埼玉県	1	2	3
千葉県	0	3	3
岡山県	2	0	2
京都府	1	1	2
福岡県	1	1	2
静岡県	0	2	2
滋賀県	0	2	2
和歌山県	1	0	1
高知県	1	0	1
北海道	0	1	1
宮城県	0	1	1
石川県	0	1	1
奈良県	0	1	1
計	50	50	100

注: 図表 2-13 の市区町村を都道府県別に集計したもの. 上位 1-100 を降順でソート.

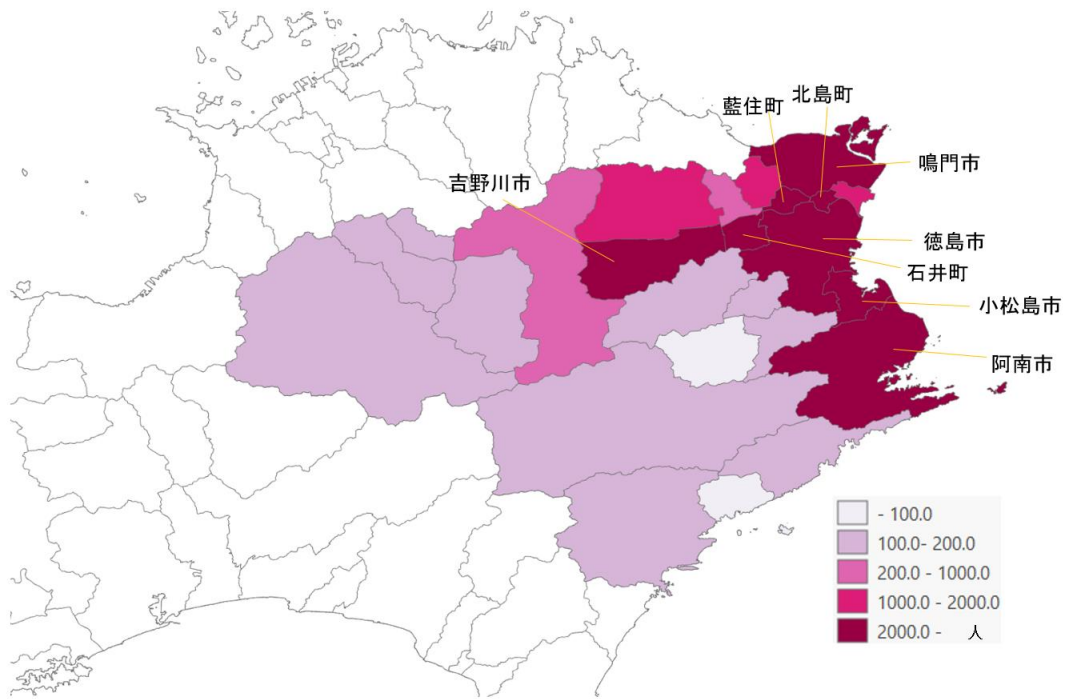
最後に, 図表 2-15 と図表 2-16 には, 8 月 12-13 日(日別ユニーク合計)の徳島県内市町村の来場者数と関西・四国・中国地方の 8 府県の市町村別来場者数を地図上に示している⁸.

ただし, 図表 2-16 では秘匿等で未報告とされた市町村については, 空白とせず, 各府県の来場者数と報告された市町村の来場者数合計との差を, 一律に按分して割り振った. 例えば, 高知県では, 高知市のみが 8 月 12 日と 13 日の両日ともに人数が報告されたので, 8 月 12-13 日の高知県の来場者数 1,087 人から高知市の来場者数 736 人を引いた 351 人を, その他の 33 市町村に一律に按分して, 1 市町村当たり 10.64 人を割り振った.

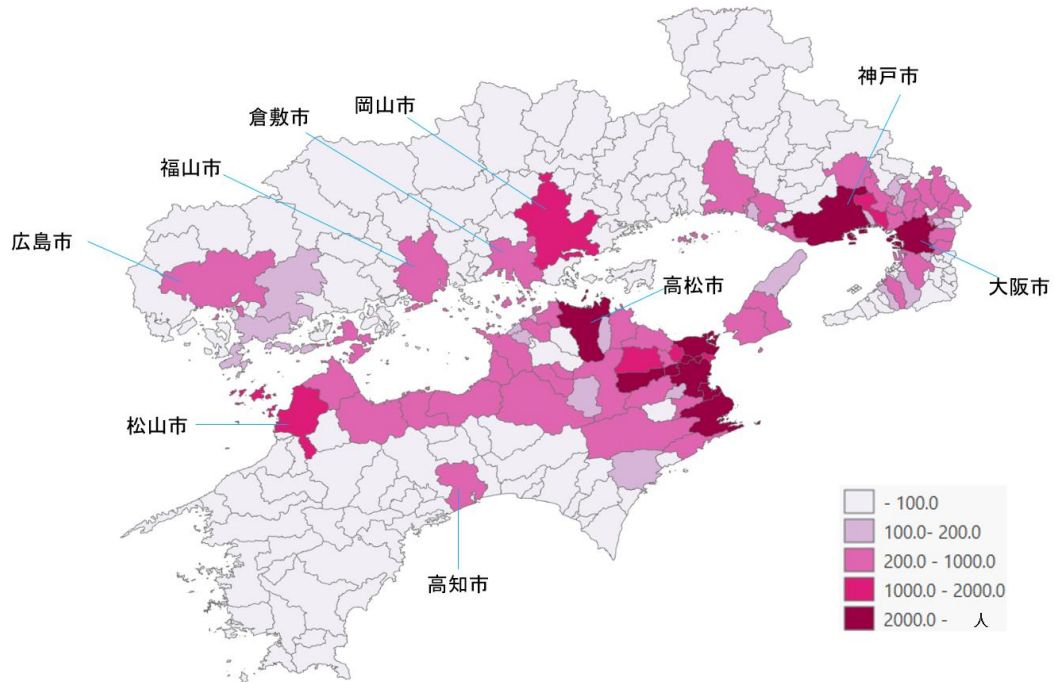
図表 2-15 から, 来場者数の分布は, 徳島県内では徳島市と東部地域の市町と阿南市(2 日間で 2,000 人以上)に集中しており, 徳島市へのアクセスの良さと人口規模が影響している. さらに, 図表 2-16 から, 県外の来場者数の分布は, 県庁所在地や中核市に集中しており, 自治体の人口規模が影響していることが確認できる.

⁸ 関西地方は大阪府と兵庫県, 中国地方は岡山県と広島県のみである.

図表 2-15. 8月 12-13 日の徳島県内市町村の来場者数



図表 2-16. 8月 12-13 日の関西・四国・中国地方の市町村別来場者数



注: 関西地方は大阪府と兵庫県, 中国地方は岡山県と広島県.

②市区町村別 1 万人当たり来場者数

ここでは、市区町村別 1 万人当たり来場者数を確認する。ただし、上述の通り、8 月 12 日は 183 市区町村、8 月 13 日は 169 市区町村、8 月 14 日は 98 市区町村のみで来場者数が報告されており、来場があったすべての市区町村から 1 万人当たり来場者数が算出できたわけではない。

(a)徳島県内市町村

2023 年の徳島市阿波おどりの開催日別・徳島県内市町村別の 1 万人当たり来場者数は、図表 2-17 に示す通りである⁹。徳島県内の市町村別では、徳島市が最も多く、8 月 12 日は 1,164 人、13 日は 1,110 人であり、8 月 12-13 日の 2 日間では 2,273 人と県内で唯一 2000 人を超えている。ついで、北島町、松茂町、藍住町、石井町、小松島市、板野町が 1,000 人台である。

徳島県内の 1 万人当たり来場者数の特徴をまとめると、上位 10 までは県東部地域に位置する市町であり、地理的制約から「東高西南低」の傾向が確認できる。

(b)徳島県外市区町村

図表 2-18 は、徳島県を除く全国の市区町村の、上位 100 市区町村の開催日別 1 万人当たりの来場者数である。

8 月 12-13 日の 2 日間の上位 3 は、香川県東かがわ市、兵庫県南あわじ市、兵庫県洲本市でこれらは 1 万人当たり 100 人を超えている。50-100 人はすべて香川県の 9 市町(宇多津町、高松市、さぬき市、多度津町、観音寺市、善通寺市、三木町、琴平町、丸亀市)である。

上位 100 までを都道府県別に集計した図表 2-19 を見ると、まず、上位 50 までの市区町村が最も多いのが、大阪府の 15 市、ついで香川県の 13 市町、兵庫県の 11 市、愛媛県の 6 市(四国中央市、新居浜市、西条市、松山市、今治市、東温市)である。香川県の 17 市町のうち、13 市町が上位 18 にランクインしている。

50-100 位までの市区町村が最も多いのが、東京都の 20 特別区、ついで大阪府の 6 市(堺市、東大阪市、和泉市、門真市、松原市、羽曳野市)、兵庫県 5 市(姫路市、川西市、伊丹市、宝塚市、たつの市)、広島県の 5 市(東広島市、福山市、呉市、広島市、尾道市)である。

徳島県以外の来場者数の特徴をまとめると、来場者数では、大阪府と兵庫県で 18 市、香川県と愛媛県で 10 市であり、合わせると上位 50 のうち 28 市町が 4 府県に集中し、ほとんどが関西地方の市や中国地方、四国地方の市であり、東京 23 区や関西地方以外の政令市都市(横浜市、川崎市、名古屋市、福岡市、さいたま市)も上位 50 に含まれていた。

しかし、1 万人当たり来場者数では、大阪府と兵庫県で 26 市、香川県と愛媛県で 19 市町であり、合わせると上位 50 のうち 45 市町が 4 府県に集中するようになった。残りの 5 市は、京都府の 3 市、岡山市、高知市であり、このことから、1 万人当たりの来場者数で見ると、上位 50 のすべてが関西地方、中国地方、四国地方の市町に集中していることが明らかになった。

⁹ 図表 2-20 には、8 月 12-13 日の徳島県内市町村の 1 万人当たり来場者数を地図上に示している。

図表 2-17. 8月 12-13 日の徳島県市町村別 1 万人当たり来場者数

順位	都道府県	市区町村	阿波おどリエリア来場者人数/1万人(人)					対象人口 (万人) (k)
			12日 (a/k)	13日 (b/k)	14日 (c/k)	12-13日 (d/k)	12-14日 (e/k)	
1	東部	徳島市	1,163.5	1,109.5	629.7	2,273.0	2,902.7	22.09
2	東部	北島町	753.9	775.5	346.1	1,529.3	1,875.5	1.90
3	東部	松茂町	747.9	735.1	307.5	1,483.0	1,790.5	1.25
4	東部	藍住町	717.9	721.3	331.3	1,439.3	1,770.6	2.95
5	東部	石井町	639.1	623.5	270.2	1,262.5	1,532.7	2.12
6	東部	小松島市	579.7	602.2	310.9	1,182.0	1,492.9	3.16
7	東部	板野町	495.3	594.9	210.6	1,090.2	1,300.8	1.13
8	東部	鳴門市	451.0	519.7	239.2	970.7	1,209.9	4.77
9	東部	勝浦町	455.6	498.6	145.5	954.2	1,099.7	0.42
10	東部	上板町	440.3	434.2	177.1	874.5	1,051.6	0.99
11	南部	阿南市	412.4	444.3	205.4	856.7	1,062.1	5.94
12	東部	佐那河内村	426.1	309.9	199.2	736.0	935.3	0.18
13	東部	吉野川市	320.4	383.3	201.9	703.7	905.6	3.36
14	東部	神山町	363.8	327.1	122.1	690.9	813.0	0.41
15	東部	阿波市	303.5	341.3	130.7	644.7	775.4	3.02
16	南部	美波町	249.0	208.7	78.7	457.7	536.4	0.55
17	南部	那賀町	199.9	198.3	74.0	398.2	472.2	0.64
18	東部	上勝町	259.6	83.8	84.6	343.4	428.0	0.12
19	西部	つるぎ町	118.1	150.6	47.2	268.6	315.9	0.68
20	西部	美馬市	121.3	141.5	73.8	262.8	336.6	2.42
21	南部	牟岐町	88.0	163.8	84.9	251.7	336.7	0.33
22	南部	海陽町	78.3	113.3	63.4	191.6	255.0	0.74
23	西部	東みよし町	81.4	96.9	27.7	178.3	206.0	1.16
24	西部	三好市	60.6	98.2	38.1	158.9	197.0	2.05
	徳島県	平均	679	679	352	1,358	1,711	62.35

注:(a)-(e)は、図表 2-12[1]の数値. 12-13 日を降順でソート.

図表 2-18. 8月 12-13 日の 1 万人当たり来場者数上位 100 市区町村

[1] 上位 50 市区町村

順位	都道府県	市区町村	阿波おどリエリア来場者人数/1万人(人)					対象人口 (万人) (k)
			12日 (a/k)	13日 (b/k)	14日 (c/k)	12-13日 (d/k)	12-14日 (e/k)	
1	香川県	東かがわ市	52.94	90.64	26.47	143.58	170.06	2.49
2	兵庫県	南あわじ市	59.68	69.54	20.25	129.23	149.48	3.75
3	兵庫県	洲本市	44.66	64.60	11.24	109.26	120.50	3.56
4	香川県	宇多津町	38.06	50.75	21.57	88.82	110.39	1.58
5	香川県	高松市	42.10	38.77	19.90	80.87	100.77	35.73
6	香川県	さぬき市	34.40	33.91	20.25	68.31	88.56	4.10
7	香川県	多度津町	34.19	30.05		64.24		1.93
8	香川県	観音寺市	23.43	37.69	23.84	61.12	84.95	4.91
9	香川県	善通寺市	29.59	29.96	13.68	59.55	73.23	2.70
10	香川県	三木町	22.82	30.28	16.68	53.10	69.78	2.28
11	香川県	琴平町	28.43	24.37		52.80		0.74
12	香川県	丸亀市	25.46	26.32	13.81	51.79	65.59	9.27
13	兵庫県	淡路市	19.31	28.54		47.84		3.57
14	香川県	坂出市	26.64	21.13	13.55	47.77	61.32	4.35
15	愛媛県	四国中央市	19.64	27.86	9.33	47.50	56.83	7.18
16	愛媛県	新居浜市	16.19	26.31	7.08	42.50	49.59	9.88
17	香川県	三豊市	13.06	25.92	11.92	38.98	50.90	5.29
18	香川県	綾川町	21.68	16.00		37.69		1.94
19	愛媛県	西条市	19.45	15.18	4.83	34.62	39.46	8.90
20	愛媛県	松山市	15.57	13.02	7.79	28.59	36.38	43.92
21	兵庫県	神戸市	13.21	13.19	4.17	26.40	30.58	132.72
22	兵庫県	西宮市	14.43	11.92	3.96	26.35	30.31	41.37
23	高知県	高知市	14.43	11.79	6.23	26.22	32.46	28.07
24	愛媛県	今治市	12.71	12.94	3.83	25.64	29.47	13.07
25	愛媛県	東温市	12.77	11.73		24.50		2.90
26	兵庫県	三田市	11.54	11.65		23.19		9.36
27	兵庫県	高砂市	10.62	10.88		21.50		7.54
28	京都府	八幡市	11.10	9.30		20.40		6.13
29	大阪府	吹田市	10.44	9.89	3.59	20.32	23.91	32.87
30	大阪府	大阪市	10.17	9.12	3.84	19.29	23.14	242.22
31	兵庫県	芦屋市	10.94	7.83	5.47	18.77	24.24	8.05
32	岡山県	岡山市	8.84	9.80	3.57	18.64	22.21	61.86
33	大阪府	守口市	9.00	9.64	3.82	18.63	22.46	12.56
34	大阪府	箕面市	10.76	7.79		18.55		11.43
35	大阪府	茨木市	9.72	8.74	2.41	18.46	20.87	24.49
36	兵庫県	明石市	7.05	10.77	2.32	17.82	20.15	25.81
37	大阪府	大東市	9.38	8.14		17.52		10.45
38	兵庫県	尼崎市	8.79	8.12	3.60	16.91	20.51	40.51
39	大阪府	四條畷市	7.99	8.62		16.61		4.75
40	大阪府	豊中市	9.25	7.17	2.41	16.42	18.83	34.05
41	京都府	京田辺市	8.83	7.07		15.90		6.23
42	大阪府	八尾市	6.81	8.78		15.59		22.90
43	大阪府	高槻市	6.84	8.55	1.81	15.39	17.19	30.42
44	京都府	長岡京市	8.49	6.15		14.64		6.83
45	大阪府	貝塚市	7.46	6.77		14.23		7.24
46	兵庫県	加古川市	7.79	6.37	1.78	14.16	15.94	22.46
47	大阪府	枚方市	6.41	7.59	2.11	14.01	16.11	34.63
48	大阪府	寝屋川市	5.58	8.21	2.44	13.79	16.23	20.09
49	大阪府	岸和田市	7.80	5.97		13.78		16.40
50	大阪府	池田市	4.99	8.64		13.63		9.03

[2] 51-100 位市区町村

順位	都道府県	市区町村	阿波おどリエリア来場者人数/1万人(人)					対象人口 (万人)
			12日 (a/k)	13日 (b/k)	14日 (c/k)	12-13日 (d/k)	12-14日 (e/k)	
51	兵庫県	姫路市	6.05	7.37	1.68	13.42	15.10	45.30
52	大阪府	堺市	6.35	6.87	1.80	13.22	15.02	71.16
53	兵庫県	川西市	6.26	6.94		13.20		13.10
54	大阪府	東大阪市	6.23	6.85	2.60	13.07	15.67	43.52
55	東京都	港区	6.60	5.88	2.29	12.47	14.76	22.29
56	兵庫県	伊丹市	6.61	5.77		12.38		16.80
57	滋賀県	草津市	6.28	5.96		12.24		12.26
58	岡山県	倉敷市	4.48	7.57	1.57	12.05	13.62	40.82
59	奈良県	生駒市	4.15	7.89		12.04		9.89
60	広島県	東広島市	6.12	5.88	2.46	12.00	14.46	16.66
61	大阪府	和泉市	3.94	8.01		11.95		15.73
62	京都府	京都市	5.63	6.03	2.83	11.65	14.49	128.45
63	東京都	渋谷区	6.20	5.42	3.12	11.62	14.75	21.77
64	兵庫県	宝塚市	7.14	4.35	2.85	11.49	14.34	19.32
65	和歌山県	和歌山市	6.61	4.59	1.76	11.20	12.96	30.72
66	大阪府	門真市	6.84	4.31	3.84	11.15	15.00	10.67
67	東京都	中央区	7.20	3.94	1.87	11.14	13.01	14.45
68	大阪府	松原市	5.70	5.32		11.02		10.35
69	広島県	福山市	4.14	6.64	1.56	10.78	12.34	39.14
70	東京都	目黒区	6.18	4.16	3.01	10.34	13.36	25.23
71	兵庫県	たつの市	4.22	5.00		9.22		6.40
72	東京都	杉並区	4.48	4.63	3.88	9.10	12.99	52.29
73	東京都	文京区	5.79	3.30	2.34	9.09	11.43	20.91
74	大阪府	羽曳野市	3.38	5.60		8.99		9.46
75	東京都	品川区	5.00	3.83	1.97	8.83	10.80	37.04
76	東京都	世田谷区	4.33	4.25	1.87	8.58	10.44	81.96
77	滋賀県	大津市	4.69	3.81		8.50		29.41
78	愛知県	豊田市	3.54	4.07	1.66	7.61	9.27	36.13
79	奈良県	奈良市	4.09	3.44		7.54		30.77
80	東京都	新宿区	5.16	2.38	2.00	7.54	9.53	31.58
81	広島県	呉市	2.95	4.57		7.52		18.61
82	東京都	中野区	4.60	2.89	2.06	7.49	9.55	31.10
83	京都府	宇治市	4.00	2.90		6.91		15.49
84	広島県	広島市	3.36	3.47	2.02	6.83	8.85	102.32
85	東京都	小平市	3.28	3.28		6.56		17.07
86	東京都	千代田区	4.92	1.23		6.15		5.69
87	東京都	墨田区	2.33	3.24	1.21	5.57	6.78	24.06
88	東京都	豊島区	2.73	2.80		5.53		27.10
89	鳥取県	鳥取市	3.50	2.00		5.50		16.01
90	東京都	江東区	3.51	1.77		5.28		45.29
91	東京都	北区	2.72	2.52		5.24		31.30
92	東京都	練馬区	3.14	2.09	0.93	5.23	6.17	65.52
93	神奈川県	川崎市	3.07	1.98	0.79	5.06	5.85	133.05
94	東京都	台東区	2.69	2.27		4.95		18.98
95	東京都	荒川区	2.42	2.42		4.84		19.00
96	広島県	尾道市	2.21	2.57		4.78		11.30
97	島根県	松江市	2.61	2.09		4.69		17.26
98	千葉県	市川市	2.69	1.93	0.90	4.63	5.53	43.42
99	東京都	江戸川区	1.90	2.71	0.66	4.62	5.28	60.45
100	愛知県	名古屋市	2.49	1.86	0.93	4.34	5.28	202.31

注1: 空欄は秘匿等のために来場者数が示されなかったことを示す。

注2: (a)-(e)は図表 2-13 の数値. 12-13 日を降順でソート.

図表 2-19. 8 月 12-13 日の 1 万人当たり来場者数上位 100 市区町村の都道府県別集計結果

都道府県	上位 1-50	上位 50-100	上位 1-100
大阪府	15	6	21
東京都	0	20	20
兵庫県	11	5	16
香川県	13	0	13
愛媛県	6	0	6
京都府	3	2	5
広島県	0	5	5
愛知県	0	2	2
滋賀県	0	2	2
奈良県	0	2	2
岡山県	1	1	2
高知県	1	0	1
千葉県	0	1	1
神奈川県	0	1	1
和歌山県	0	1	1
鳥取県	0	1	1
島根県	0	1	1
計	50	50	100

注: 図表 2-18 の市区町村を都道府県別に集計したもの. 上位 1-100 を降順でソート.

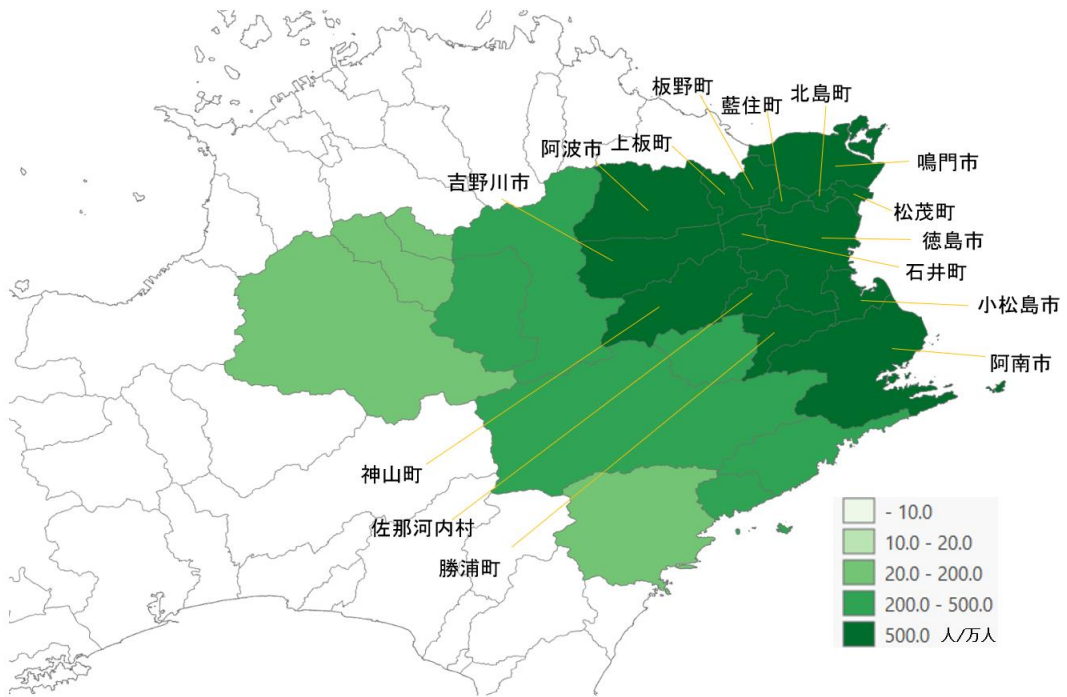
最後に, 図表 2-20 と図表 2-21 は, 8 月 12-13 日の徳島県内市町村の 1 万人当たり来場者数と関西・四国・中国地方の 8 府県市町村の 1 万人当たり来場者数を地図上に示している¹⁰.

ただし, 図表 2-21 では秘匿等で未報告となった市町村については, 空白とせず, 1 万人当たり来場者数は, (各府県の来場者数と報告された市町村の来場者数合計との差を) 一律に按分して割り振った来場者数を, さらに未報告の市町村の平均人口で割って算出している. 例えば, 高知県の場合, 高知市以外の市町村の 1 万人当たり来場者数は, (図表 2-15 で説明した) 1 市町村当たり来場者数 10.64 人を 33 市町村の 1 市町村当たりの平均人口 (15-89 歳人口) 9,525 人で割って, 11.17 人と算出した.

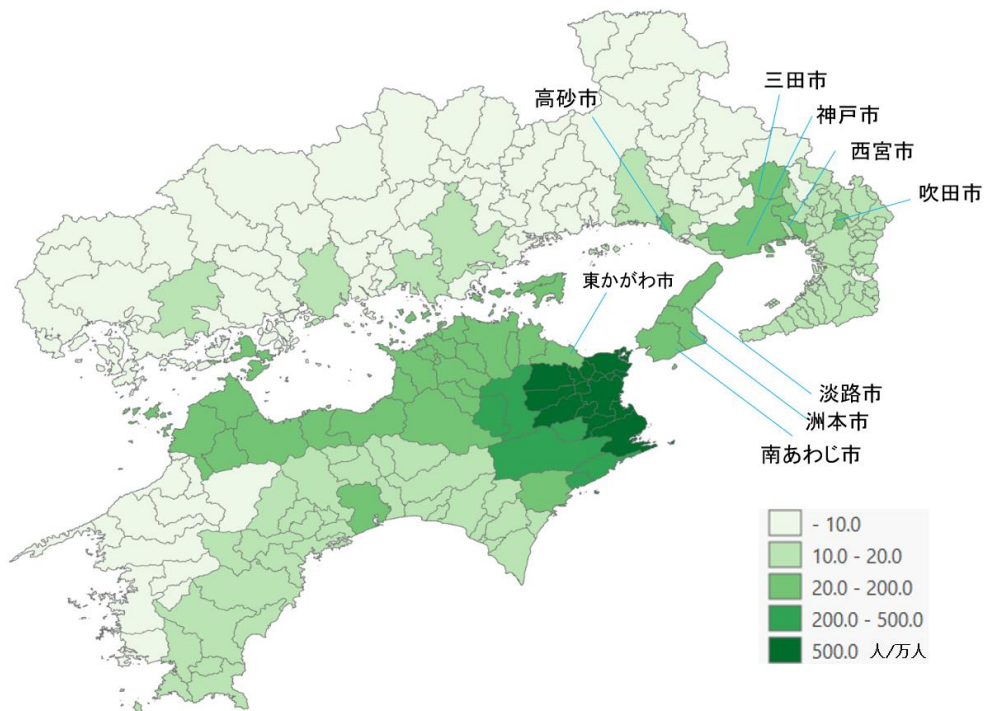
図表 2-20 から, 徳島県内の 1 万人当たり来場者数の分布は, 徳島市とその周辺の県東部に位置する市町村に集中しており, 地理的制約から「東高西南低」の傾向が確認できる. さらに, 図表 2-21 から, 1 万人当たり来場者数の分布は, 徳島県内を中心として, 周辺県の香川県と愛媛県東部や兵庫県へ, さらに, 高知県と大阪府, 中国地方の政令市や中核市に広がっていることから, 高速道路や鉄道でのアクセスの良さが集客に直結していることがうかがえる. 神戸市やその周辺市, 淡路島三市からは神戸淡路鳴門自動車道, 香川県や愛媛県東部からは松山自動車道・高松自動車道・徳島自動車道を利用したアクセスが良さが影響し, 同様に, 中国地方の岡山市, 倉敷市, 福山市は政令指定都市と中核市で人口規模が大きいこともあるが, 1 万人当たり来場者数でも相対的に多いのは, 瀬戸大橋を利用したアクセスの良さが影響していると考えられる.

¹⁰ 関西地方は大阪府と兵庫県, 中国地方は岡山県と広島県のみである.

図表 2-20. 8月12-13日の徳島県内市町村の1万人当たり来場者数



図表 2-21. 8月12-13日の関西・四国・中国地方の市町村別1万人当たり来場者数



注: 関西地方は大阪府と兵庫県, 中国地方は岡山県と広島県.

(6) 期間ユニーク来場者数

ここでは、期間ユニークで見た徳島県内市町村と都道府県別の来場者数を明らかにする。

①徳島県内来場者数

図表 2-22 は、8 月 12-13 日の二日間と 12-14 日の三日間の徳島県内市町村別来場者数を、日別ユニークと期間ユニークで整理したものである。ただし、8 月 12-13 日の期間ユニークは 12-14 日の日別ユニーク人数の合計と 8 月 12-14 日の期間ユニーク人数の差を 13 日と 14 日の来場者数の割合で按分し、さらに、それを 13 日と 14 日の日別ユニーク来場者数から控除することによって算出した推計値である。

(a) 日別ユニーク

まず、8 月 12-13 日の二日間も同様に、東部地域が 77,515 人(全国の 53.4%)で県内来場者の 91.5%を占めており、南部地域が 5,817 人で県内来場者の 6.9%、西部地域が 1,350 人で県内来場者の同 1.6%である。また、徳島市の来場者が 50,219 人で県内の 59.3%(全国の 34.6%)を占めている。

図表 2-22. 徳島県内居住者の来場者数(日別ユニーク・期間ユニーク)

	日別ユニーク(人)				期間ユニーク(人)			
	12-13日	割合 (%)	12-14日	割合 (%)	12-13日	割合 (%)	12-14日	割合 (%)
徳島市	50,219	59.3	64,131	60.1	36,478	56.3	42,591	55.9
鳴門市	4,630	5.5	5,771	5.4	3,784	5.8	4,535	6.0
小松島市	3,733	4.4	4,715	4.4	2,990	4.6	3,588	4.7
吉野川市	2,363	2.8	3,041	2.9	1,987	3.1	2,467	3.2
阿波市	1,944	2.3	2,338	2.2	1,617	2.5	1,886	2.5
東部 勝浦町	400	0.5	461	0.4	337	0.5	379	0.5
上勝町	41	0.0	54	0.1	37	0.1	45	0.1
佐那河内村	133	0.2	169	0.2	114	0.2	137	0.2
石井町	2,673	3.2	3,245	3.0	2,180	3.4	2,538	3.3
神山町	283	0.3	333	0.3	235	0.4	267	0.4
松茂町	1,852	2.2	2,236	2.1	1,495	2.3	1,729	2.3
北島町	2,903	3.4	3,560	3.3	2,312	3.6	2,705	3.5
藍住町	4,240	5.0	5,216	4.9	3,406	5.3	3,999	5.2
板野町	1,237	1.5	1,476	1.4	1,026	1.6	1,190	1.6
上板町	864	1.0	1,039	1.0	730	1.1	850	1.1
東部 計	77,515	91.5	97,785	91.7	58,725	90.6	68,906	90.4
南部 阿南市	5,089	6.0	6,309	5.9	4,244	6.5	5,073	6.7
那賀町	253	0.3	300	0.3	220	0.3	255	0.3
牟岐町	83	0.1	108	0.1	75	0.1	97	0.1
美波町	250	0.3	293	0.3	201	0.3	225	0.3
海陽町	142	0.2	189	0.2	139	0.2	184	0.2
南部 計	5,817	6.9	7,199	6.8	4,879	7.5	5,834	7.7
西部 美馬市	637	0.8	816	0.8	559	0.9	697	0.9
三好市	325	0.4	403	0.4	288	0.4	351	0.5
つるぎ町	182	0.2	214	0.2	162	0.3	188	0.2
東みよし町	206	0.2	238	0.2	196	0.3	225	0.3
西部 計	1,350	1.6	1,671	1.6	1,204	1.9	1,461	1.9
徳島県内 計	84,682	100.0	106,655	100.0	64,808	100.0	76,201	100.0

注:12-13 日の期間ユニークは推計値。

出所:「モバイル空間統計」より作成。

つぎに、8月12-14日の三日間の徳島県内の来場者数と割合を地域別に見ると、東部地域が97,785人(全国の54.7%)で県内来場者の91.7%を占めており、南部地域が7,199人で県内来場者の6.8%、西部地域が1,671人で県内来場者の同1.6%である。また、徳島市の来場者が64,131人で県内の60.1%(全国の35.9%)を占めている。

(b) 期間ユニーク

まず、8月12-13日の二日間も同様に、東部地域が58,724人(全国の49.4%)で県内来場者の90.6%を占めており、南部地域が4,879人で県内来場者の7.5%、西部地域が1,204人で県内来場者の同1.9%である。また、徳島市の来場者が36,478人で県内の56.3%(全国の30.7%)を占めている。つぎに、8月12-14日の三日間の徳島県内の来場者数と割合を地域別に見ると、東部地域が68,906人(全国の49.4%)で県内来場者の90.4%を占めており、南部地域が5,834人で県内来場者の7.7%、西部地域が1,461人で県内来場者の同1.9%である。また、徳島市の来場者が42,591人で県内の55.9%(全国の30.5%)を占めている。

ただし、上述の通り、「モバイル空間統計」では、徳島県内の一部の自治体で秘匿等のために来場者数が示されなかったため、徳島県全体の来場者数と市町村合計の来場者数との差を自治体の人口比で按分する方法をとった。

②都道府県別来場者数

図表2-23は、8月12-13日の二日間と12-14日の三日間の都道府県別来場者数を、日別ユニークと期間ユニークで整理したものである。

(a) 日別ユニーク

まず、図表2-23より、8月12-13日の二日間の来場者数(日別ユニークの合計)と割合145,158人のうち、徳島県内の来場者は84,682人で58.3%であり、県外からの来場者は60,476人で41.7%であった。つぎに、8月12-14日の三日間の来場者数と割合を都道府県別に見ると、日別ユニークでは、国内の来場者178,764人のうち、徳島県内の来場者は106,655人で59.7%であり、県外からの来場者は72,109人で40.3%であった。

(b) 期間ユニーク

8月12-13日の二日間の期間ユニーク¹¹では、国内の来場者118,965人のうち、徳島県内の来場者は64,635人で54.3%であり、県外からの来場者は54,330人で45.7%であった。8月12-14日の三日間の期間ユニークでは、国内の来場者139,617人のうち、徳島県内の来場者は76,202人で54.6%であり、県外からの来場者は63,415人で45.4%であった。

¹¹ 上述の通り、8月12-13日の期間ユニークは12-14日の期間ユニーク人数から算出している。

図表 2-23. 都道府県別別来場者数(日別ユニーク・期間ユニーク)

	日別ユニーク(人)				期間ユニーク(人)			
	12-13日	割合(%)	12-14日	割合(%)	12-13日	割合(%)	12-14日	割合(%)
北海道	329	0.2	375	0.2	280	0.2	307	0.2
青森県	49	0.0	70	0.0	42	0.0	51	0.0
岩手県	30	0.0	50	0.0	21	0.0	27	0.0
宮城県	199	0.1	225	0.1	178	0.1	197	0.1
秋田県	24	0.0	40	0.0	21	0.0	32	0.0
山形県	64	0.0	82	0.0	57	0.0	70	0.1
福島県	250	0.2	280	0.2	234	0.2	259	0.2
茨城県	247	0.2	304	0.2	235	0.2	285	0.2
栃木県	166	0.1	207	0.1	150	0.1	183	0.1
群馬県	165	0.1	197	0.1	151	0.1	176	0.1
埼玉県	1,163	0.8	1,348	0.8	1,002	0.8	1,123	0.8
千葉県	1,229	0.8	1,472	0.8	1,079	0.9	1,252	0.9
東京都	6,606	4.6	8,171	4.6	5,559	4.7	6,569	4.7
神奈川県	2,710	1.9	3,188	1.8	2,483	2.1	2,865	2.1
新潟県	90	0.1	127	0.1	72	0.1	90	0.1
富山県	217	0.1	234	0.1	203	0.2	217	0.2
石川県	247	0.2	323	0.2	235	0.2	303	0.2
福井県	171	0.1	184	0.1	163	0.1	175	0.1
山梨県	211	0.1	225	0.1	200	0.2	212	0.2
長野県	236	0.2	261	0.1	225	0.2	247	0.2
岐阜県	333	0.2	387	0.2	313	0.3	361	0.3
静岡県	801	0.6	931	0.5	725	0.6	821	0.6
愛知県	2,378	1.6	2,889	1.6	2,167	1.8	2,583	1.9
三重県	447	0.3	533	0.3	387	0.3	450	0.3
滋賀県	755	0.5	840	0.5	683	0.6	750	0.5
京都府	2,340	1.6	2,886	1.6	2,062	1.7	2,477	1.8
大阪府	12,105	8.3	14,172	7.9	10,780	9.1	12,389	8.9
兵庫県	9,610	6.6	11,069	6.2	8,678	7.3	9,857	7.1
奈良県	838	0.6	923	0.5	774	0.7	846	0.6
和歌山県	555	0.4	629	0.4	490	0.4	543	0.4
鳥取県	244	0.2	253	0.1	245	0.2	254	0.2
島根県	184	0.1	195	0.1	187	0.2	199	0.1
岡山県	2,088	1.4	2,483	1.4	1,928	1.6	2,267	1.6
広島県	1,773	1.2	2,177	1.2	1,617	1.4	1,956	1.4
山口県	325	0.2	402	0.2	276	0.2	330	0.2
徳島県	84,682	58.3	106,655	59.7	64,635	54.3	76,202	54.6
香川県	5,477	3.8	6,877	3.8	5,080	4.3	6,281	4.5
愛媛県	2,915	2.0	3,572	2.0	2,692	2.3	3,249	2.3
高知県	1,087	0.7	1,323	0.7	1,016	0.9	1,218	0.9
福岡県	933	0.6	1,147	0.6	833	0.7	1,001	0.7
佐賀県	95	0.1	124	0.1	91	0.1	118	0.1
長崎県	116	0.1	137	0.1	92	0.1	103	0.1
熊本県	134	0.1	162	0.1	126	0.1	150	0.1
大分県	126	0.1	144	0.1	113	0.1	126	0.1
宮崎県	119	0.1	136	0.1	113	0.1	127	0.1
鹿児島県	130	0.1	167	0.1	119	0.1	149	0.1
沖縄県	165	0.1	188	0.1	151	0.1	170	0.1
計	145,158	100.0	178,764	100.0	118,965	100.0	139,617	100.0

注:12-13日の期間ユニークは推計値.

出所:「モバイル空間統計」より作成.